

令和5年度

授 業 実 施 計 画

(令和5年度入学生)

札幌歯科学院専門学校

歯科衛生士科

【科目名】 生物学

【年次・開講期】 1年次 前期

【時間】 30時間

【単位】 2単位

【担当講師】 田崎 保明

【授業概要】 生物学をとりまく現状と課題について考察する。
また、生物の多様性を理解し相互依存の関係を学ぶ。

【到達目標】

- ・生物の系統および進化について概説できる。
- ・ヒトという生物と他の生物とのかかわりを概説できる。
- ・生物の多様性と相互依存の関係を概説できる。
- ・地球環境の変化と生物への影響について概説できる。
- ・外来生物の功罪について概説できる。

【教科書】 プリント配布

【参考書】

【評価方法】 定期試験(前期)70%、ノート20%、動物園課題10%

【授業方法】 講義

【授業計画】

回	授業項目	授業内容	担当者
1	生物の系統分類	生物とは何か ～ウイルスは生物か～	田崎 保明
2	生物の系統と進化	生命の誕生と進化 ～進化はどこに向かうのか～	田崎 保明
3	ヒトの生物学(1)	骨格から見える進化 ～骨は語る～	田崎 保明
4	ヒトの生物学(2)	痕跡器官から見える進化 ～なぜ動耳筋があるのか～	田崎 保明
5	生物の多様性(1)	種とは何か ～オレタチとは？～	田崎 保明
6	生物の多様性(2)	3ドメインとは何か ～光合成が支える地球の生命～	田崎 保明
7	生物の多様性(3)	ヒトもまた動物 ～蛸(たこ)はなぜ虫へんなのか？～	田崎 保明
8	生物の多様性(4)	菌活 ～世界最大の生物はキノコ？～	田崎 保明
9	課外研修	札幌円山動物園 ～動物園で学ぶ生物学～	田崎 保明
10	生物多様性の保全	生物みな兄弟 ～生物WWW～	田崎 保明
11	生態系の保全(1)	レッドリスト、レッドデータブック ～絶滅危惧種を絶滅させないために～	田崎 保明
12	生態系の保全(2)	温暖化問題を考える ～北海道が亜熱帯性気候に！～	田崎 保明
13	バイオテクノロジー(1)	発酵からクローンまで ～生物工学とは何か～	田崎 保明
14	バイオテクノロジー(2) 講義のまとめ	バイオテクノロジーがもたらすもの ～iPS細胞が切り開く再生医療の未来～	田崎 保明

【科目名】 化学
 【年次・開講期】 1年次 前期
 【時間】 30時間
 【単位】 2単位
 【担当講師】 三好 敬一

【授業概要】 医療現場で種々の歯科材料を扱うためには、化学の基礎が不可欠となっています。化学の基礎知識から歯科医療の関連までを系統的に学習し、身につけてもらいます。

【到達目標】

- ・物質は元素が結合することによってできている。結合の仕方によって物質の多様な性質が決まっていることを知る。
- ・溶液の性質、溶液の濃度の表し方を身につける。
- ・酸と塩基、酸化と還元を把握する。
- ・有機化合物と日常生活での役割を理解する。

【教科書】 歯科衛生学シリーズ 化学
 (一社)全国歯科衛生士教育協議会監修 医歯薬出版株式会社

【参考書】 プリント配布

【評価方法】 定期試験(前期)100%

【授業方法】 講義

【授業計画】

回	授業項目	授業内容	担当者
1	物質とは何だろう 物質とは何だろう	1. 混合物と純物質 2. 純物質の分離 3. 純物質の分解 4. 単体と化合物 5. 元素 6. 原子	三好 敬一
2	原子の電子対置とイオン 原子の電子対置とイオン	1. 電子殻 2. 電子配置 3. 単原子イオンと多原子イオン 4. イオン結合と組成式	三好 敬一
3	共有結合 金属結合	1. 共有結合 2. 電子式 3. 構造式 4. 配位結合 5. 極性分子 6. 金属結合	三好 敬一
4	分子量・物質量 分子量・物質量	1. 相対質量 2. 原子量 3. 分子量・式量 4. アボガドロ定数 5. 物質量	三好 敬一
5	気体 気体	1. 気体とは 2. ボイルの法則 3. シャルルの法則 4. 大気圧 5. 地球温暖化ガス 6. 気体を使う	三好 敬一
6	溶解 水溶液の濃度	1. 水溶性の仕組み 2. 固体の溶解 3. 気体の溶解 1. %濃度 2. モル濃度	三好 敬一
7	希薄水溶液の性質 希薄水溶液の性質	1. 蒸気圧降下 2. 沸点上昇 3. 凝固点降下 4. 浸透圧	三好 敬一
8	酸と塩基 酸と塩基	1. 性質・定義 2. 種類 3. 強弱 4. pH 5. 身近な物質のpH 6. 中和	三好 敬一
9	酸化と還元 酸化と還元	1. 酸化と還元の酸素による定義 2. 酸化と還元の電子による定 3. 酸化剤・還元剤	三好 敬一
10	イオン化傾向 1 イオン化傾向 2	1. 金属のイオン化列 2. イオン化列と反応性 1. 電池	三好 敬一
11	コロイド 水の不思議	1. コロイドとは 2. コロイドの種類 3. コロイドの性質 1. 地球は水惑星 2. 水の比熱 3. 水の沸点の異常性	三好 敬一
12	有機化合物 1 有機化合物 1	1. 有機化合物とは 2. アルカン 3. シクロアルカン 4. アルケン 5. アルキン 6. 芳香族炭化水素	三好 敬一
13	有機化合物 2 有機化合物 2	1. アルコール 2. フェノール類 3. アルデヒド 4. カルボン酸	三好 敬一
14	有機化合物 3 有機化合物 3	1. 異性体 2. 構造異性体 3. 幾何異性体 4. 光学異性体	三好 敬一
15	有機化合物 4 有機化合物 5	1. 付加重合 2. 縮合重合 1. 合成樹脂 2. 合成繊維	三好 敬一

【科目名】 心理学

【年次・開講期】 1年次 前期

【時間】 20時間

【単位】 1単位

【担当講師】 田鍋 佳子

【授業概要】 人の基本的認知能力について概観し、個人と個人ないし社会と個人の関係において生じる心理的事象について考察する。

【到達目標】

- ・様々な心理検査法を概説できる。
- ・行動と知覚・認知との関係について概説できる。
- ・記憶の種類とメカニズムについて概説できる。
- ・ストレスの仕組みを理解し、性格や疾病との関連を説明できる。
- ・対人関係にかかわる心理的要因と行動を概説できる。

【教科書】 プリント配布

【参考書】 特になし

【評価方法】 単元ごとのレポート100%

【授業方法】 講義

【授業計画】

回	授業項目	授業内容	担当者
1	心理学的発想と心理検査法	心理学と講義についての概要を説明する。心理学的発想の基礎と、様々な心理検査手法を学ぶ。	田鍋 佳子
2	感覚・知覚・認知	私たちは、見たり聞いたり感じたりすることによって、環境を知り、それに応じて行動したり、行動を調整する。行動を理解するために、環境をどう知覚しているのかについて基礎的な知識を得る	田鍋 佳子
3	記憶のメカニズム	人はどうやって記憶をしているのだろうか。様々な記憶の種類とそのメカニズムを理解する。また、自覚しにくい無意識の記憶バイアスや誤りについて理解する。また、記憶を歪めずに再生させるための面接方法について学ぶ。	田鍋 佳子
4	記憶のメカニズム		田鍋 佳子
5	対人スキル	より良い対人関係を築くために必要となる技能(相手の話を聞くこと、自分の意見を主張すること)を向上させるために必要となる知識を学ぶ。	田鍋 佳子
6	ストレスとコーピング	ストレスの仕組みを知り、性格や疾病との関連を理解する。また、自分自身を理解するために、ストレスチェックを行う。	田鍋 佳子
7	自己理解の心理過程	自己概念の種類と形成過程について学ぶ。	田鍋 佳子
8	他者理解の心理過程	対人場面において、他者を理解する際に陥りやすい認知バイアスについて学ぶ。	田鍋 佳子
9	説得的コミュニケーション	詐欺や悪徳商法、新興宗教など、私たちの心を巧みに操って不利益を被るような機会が満ちている。そのような場面ではどのような心理メカニズムが利用されているのか、どのようなテクニックが用いられているのか、といったことを学び、自分自身が被害に遭わずにすむような心構えをもつことを目指す。	田鍋 佳子
10			田鍋 佳子

【科目名】 **倫理学**

【年次・開講期】 2年次 後期

【時 間】 20時間

【単 位】 1単位

【担当講師】 太田 麻奈美

【授業概要】 人間とは何か、生きるとはどういうことかなどについて、先哲の思想に学びながら、社会人としての豊かな教養を身に付け、自ら主体的に考えようとする姿勢をはぐくむとともに、応用倫理学の一つである「医療倫理学」(3年次履修予定)を深く理解できるよう、倫理学の基礎を身に付け、医療従事者としての使命感を醸成する。

【到達目標】

- ・倫理学の意義がわかる。
- ・先人の哲学の思想が概ねわかる。
- ・医療従事者としての倫理について考えることができる。

【教科書】 「先生が教えてくれた倫理 II」 矢倉芳則 著 清水書院

【参考書】

【評価方法】 定期試験100%

【授業方法】 講義

【授業計画】

回	授 業 項 目	授 業 内 容	担 当 者
1	「倫理」を学ぶ意義とは？	経験論と合理論	太田 麻奈美
2	ドイツ観念論	・カント ・ヘーゲル	太田 麻奈美
3	功利主義	・功利主義とは何か ・ベンサム ・J・S・ミル	太田 麻奈美
4	社会主義の思想	・産業革命 ・社会主義国家について ・マルクス	太田 麻奈美
5	実在主義の思想 I	・実存主義思想とは何か。 ・キルケゴール ・ニーチェ	太田 麻奈美
6	実在主義の思想 II	・ヤスパース ・ハイデッカー ・サルトル ・実在主義の展開	太田 麻奈美
7	アメリカの思想とプラグマチズム	・ジェームス ・デューイ	太田 麻奈美
8	現代ヒューマニストの思想	・シュヴァイツァー ・ガンディー ・キング ・マザーテレサ	太田 麻奈美
9	現代思想の潮流	・他者への尊重と近代思想への批判 ・理性主義の見直しと新しい学問の展開	太田 麻奈美
10	生命倫理	・医療従事者にとっての倫理 ・倫理学のまとめ ・試験について	太田 麻奈美

【科目名】 基礎教養 I (数的処理)

【年次・開講期】 1年次 前期

【時間】 16時間

【単位】 1単位

【担当講師】 中村 均

【授業概要】 社会人として必要な基礎力の中で、論理的思考や数的処理等の能力を高める。

- ・ 基本的な概念、原理、法則を理解する。
- ・ 演習問題に取り組み、課題解決能力の向上を図る。
- ・ 小テスト、自己評価で本時のまとめを行う。

【到達目標】 ・自ら課題を発見し、解決するための構想を立て、考察することができる。

- ・ 数量の関係を式や図で表現し、的確に処理できる。
- ・ 論理的に考え抜いて、課題を解決することができる。

【教科書】 学習プリント

【参考書】 授業内で、適宜、指示する。

【評価方法】 平常点(小テスト、課題レポート等)30%、定期試験70%

【授業方法】 講義

【授業計画】

回	授業項目	授業内容	担当者
1	数的処理の準備	実数、絶対値、指数、有効数字、方程式、不等式	中村 均
2	外延量と内包量	外延量(長さ、重さ等)と内包量(割合、濃度等)の違い、内包量の性質	中村 均
3	割合と比の計算	全体を100(または1000)とした場合の部分の表し方、表の読み取り	中村 均
4	物質量の計算	質量パーセント濃度とモル濃度の計算	中村 均
5	データの分析	階級、階級値、度数、相対度数、平均値、分散、標準偏差、相関係数	中村 均
6	代表的なデータの分布	正規分布、標準正規分布、標準正規分布表の見方	中村 均
7	統計的推定	母集団と標本、標本平均の標準偏差、母平均の区間推定	中村 均
8	仮説検定	対立仮説、帰無仮説、有意水準、棄却域	中村 均

【科目名】 基礎教養Ⅱ(国語)

【年次・開講期】 1年次 後期

【時間】 30時間

【単位】 2単位

【担当講師】 大森 滋樹

【授業概要】 コミュニケーションに対する理解を深め、表現力を豊かにする学習を行う。
要約演習、レポート作成などを通し、抽象・具体といった思考の基礎を養う。
また、熟語・慣用句などの練習問題を通し、基礎的な日本語力を身につける。

【到達目標】 ・読解力を高め、適切なコミュニケーション力を磨く。
・熟語、慣用句を理解し、使いこなせるようにする。
・事実と意見をしっかり区別し、具体的な事実から意見を導けるようにする。
・敬語を学び、適切に使えるようにする。

【教科書】 佐藤陽 畑川剛毅『看取りのプロに学ぶ 幸せな逝き方』朝日新聞出版

【参考書】 毎回プリントを配布し、練習課題を行う。

【評価方法】 レポート3回 60% 要約2回 20% 小テスト 20%

【授業方法】 講義

【授業計画】

回	授業項目	授業内容	担当者
1	ガイダンス・要約演習	授業の進め方・「音楽療法」内容分析・要約演習・抽象と具体	大森滋樹
2	要約演習	漢字小テスト①・「在宅医療」内容分析・要約演習	大森滋樹
3	要約課題提出①	漢字小テスト②・「助け合いの町で」内容分析・要約課題提出	大森滋樹
4	レポート演習	漢字小テスト③「口から食べたい」批判的に読む・コミュニケーションに大切なこと。	大森滋樹
5	レポート演習	漢字小テスト④「抱きしめて看取る」レポートの基本的構成	大森滋樹
6	レポート演習	四字熟語テスト① 話し言葉と書き言葉・文章表現基礎知識	大森滋樹
7	レポート課題提出①	四字熟語テスト②「抱きしめて看取る」レポート作成・提出	大森滋樹
8	要約課題提出②	慣用句テスト①「救命現場の悩み」内容分析・要約課題提出	大森滋樹
9	レポート・新聞読解演習	慣用句テスト②「抱きしめて看取る」レポート講評・新聞記事を読む①	大森滋樹
10	レポート・新聞読解演習	ことわざ・故事成語テスト① 「訪問看護師とともに」内容分析・新聞記事を読む②	大森滋樹
11	レポート・新聞読解演習	ことわざ・故事成語テスト② 「訪問看護師とともに」構成メモ・新聞記事を読む③	大森滋樹
12	レポート課題提出②	敬語表現・「訪問看護師とともに」レポート作成・提出	大森滋樹
13	レポート・新聞読解演習	敬語小テスト①・「がん看護の現場で」内容分析・新聞記事を読む④	大森滋樹
14	レポート・新聞読解演習	敬語小テスト②「がん看護の現場で」構成メモ・「訪問看護師とともに」講評・新聞記事を読む⑤	大森滋樹
15	レポート課題提出③	「がん看護の現場で」レポート作成・提出 総まとめ	大森滋樹

【科目名】 歯科英語

【年次・開講期】 2年次 前期

【時間】 20時間

【単位】 1単位

【担当講師】 鎌水 賢二

【授業概要】 歯科英語の練習帳(橋本直子 著 萌文書林)を使用して、次の項目を柱に授業を展開する
1.専門用語、よく使われる表現について小テストを実施し習熟を図る
2.視聴覚機器を使用して、よく使用される表現の定着を図る
3.可能な範囲の中で、スピーキング練習に励む

【到達目標】 歯科医院という中で、世界共通語である英語を用いて必要な情報を伝え、来院者に安心感を与えることのできる力を養う

【教科書】 歯科英語の練習帳(橋本直子 著 萌文書林)、学習プリント等

【評価方法】 定期試験(前期) 70%、アクティビティテスト20%

【授業計画】 講義

回	授業項目	授業内容	担当者
1	Unit1 Appointment 電話の予約	オリエンテーション 電話予約に答える表現(1)	鎌水 賢二
2	Unit2 At the Reception Desk(1) 受付にて:来院の目的と既往歴	来院者へ訪ねる口頭表現 小テスト(Unit2)	鎌水 賢二
3	Unit3 Before the Treatment(1) 治療前の指示	診察前、その最中の表現 小テスト(Unit3)	鎌水 賢二
4	Unit4 At the Reception Desk(2) 受付にて:治療後	診察前、その最中の表現 小テスト(Unit4)	鎌水 賢二
5	Unit5 Before the Treatment(2) 治療の経過	症状の変化等を訪ねる表現 小テスト(Unit5)	鎌水 賢二
6	Unit6 Taking an X-ray レントゲン撮影	レントゲン撮影前の表現 小テスト(Unit6)	鎌水 賢二
7	Unit7 Dental Cre 歯の手入れ	歯の手入れに関する表現 小テスト(Unit7)	鎌水 賢二
8	Unit8 How to Brush Your Teeth 正しい歯磨き	毎日の歯みがきに関する表現 小テスト(Unit8)	鎌水 賢二
9	Unit9 Smoking and Eating Habits 喫煙と食習慣	喫煙や食生活などの習慣が口腔に与える影響に関する表現 小テスト(Unit9)	鎌水 賢二
10	Unit10 How to Prevent Gum Disease 歯周病対策	歯周病の予防と治療の表現 小テスト(Unit10)	鎌水 賢二

【科目名】 人体の構造と機能（解剖学・組織発生学）

【年次・開講期】 1年次 前期

【時間】 24時間

【単位】 1単位

【担当講師】 北海道医療大学 歯学部 口腔構造・機能発育学系 解剖学分野
教授 入江 一元 歯科医師実務経験あり

【授業概要】 歯科衛生士として必要な人体の基本構造を学ぶとともに、構造に基づいた機能の関連を把握し、歯科・医科の臨床を理解するための基礎知識を深める。

【到達目標】

- ・身体の区分・方向用語が正しく使える。
- ・人体の組織構造と発生を概説できる。
- ・体の各部位の骨格の構成を概説できる。
- ・骨格筋の基本構造と機能が分かる。
- ・消化器の構造と機能を説明できる。
- ・心臓、動脈系、静脈系、リンパ系の概説ができる。

【教科書】 歯科衛生学シリーズ 人体の構造と機能1 解剖学・組織発生学・生理学
(一社)全国歯科衛生士教育協議会監修 医歯薬出版株式会社

【参考書】 プリント配布

【評価方法】 定期試験(前期)100%

【授業方法】 講義

【授業計画】

回	授業項目	授業内容	担当者
1	解剖学概説・細胞Ⅰ	解剖学用語、細胞の構造	入江 一元
2	細胞Ⅱ・組織	細胞の基本的生理機能、上皮組織と支持組織	入江 一元
3	人体発生	染色体、減数分裂、精子と卵子、受精、胚葉の形成、胎児の成長	入江 一元
4	骨格系Ⅰ	骨の概説、頭蓋・体幹の骨	入江 一元
5	骨格系Ⅱ・筋系Ⅰ	上肢・下肢の骨、筋の概説	入江 一元
6	筋系Ⅱ・運動	各部の筋、運動、筋電図	入江 一元
7	消化・吸収Ⅰ	消化と吸収の概要、消化器の構造	入江 一元
8	消化・吸収Ⅱ	それぞれの消化器官の機能	入江 一元
9	循環Ⅰ	脈管系の概要、血管の構造と機能、血液	入江 一元
10	循環Ⅱ	心臓、動脈系	入江 一元
11	循環Ⅲ	静脈系、胎児の循環系、リンパ系	入江 一元
12	まとめ	第1回から第11回までの講義の復習とまとめ	入江 一元

【科目名】 人体の構造と機能（生理学）

【年次・開講期】 1年次 前期

【時間】 16時間

【単位】 1単位

【担当講師】 北海道大学大学院歯学研究院 口腔機能学分野 口腔生理学教室
助教 吉澤 知彦 歯科医師実務経験あり

【授業概要】 歯科衛生士に必要な人体の機能に関する知識を修得する。

【到達目標】

- ・生物の細胞内・生体内で行われる現象を理解する
- ・各組織、器官の働きについて理解する
- ・体内で生じる電気現象について理解する
- ・体内の恒常性を保つ仕組みを理解する

【教科書】 歯科衛生学シリーズ 人体の構造と機能1 解剖学・組織発生学・生理学
(一社)全国歯科衛生士教育協議会監修 医歯薬出版株式会社

【参考書】 プリント配布

【評価方法】 ミニテスト(10%), 中間試験(30%), 定期試験(前期)100%

【授業方法】 講義

【授業計画】

回	授業項目	授業内容	担当者
1	生理学の意義 細胞の基本機能 神経, 筋肉	生理学の概念 細胞膜, 細胞小器官, 細胞の構造と機能 神経と筋肉の電気現象, 筋収縮	吉澤 知彦
2	消化・吸収 血液・体液	消化酵素の働き, 腸管での吸収 血液の成分と機能, 止血, 凝固, 血液型	吉澤 知彦
3	心臓 神経	心臓のはたらき 神経興奮のしくみ (小テスト)	吉澤 知彦
4	自律神経系 呼吸	交感神経と副交感神経 肺のはたらき, 酸素と二酸化炭素の運搬	吉澤 知彦
5	感覚 排泄	体性感覚, 特殊感覚, 感覚受容器とその電気現象 排尿, 排便, 発汗	吉澤 知彦
6	体温調節 内分泌	産熱と放熱, 平熱と発熱, 体温のセットポイント ホルモンのはたらき(1)	吉澤 知彦
7	内分泌 生殖	ホルモンのはたらき(2) 性周期とホルモン, 基礎体温 (小テスト)	吉澤 知彦
8	まとめ	1~7回の講義内容についての簡単なまとめと解説。	吉澤 知彦

【科目名】 生化学

【年次・開講期】 1年次 後期

【時 間】 30時間

【単 位】 2単位

【担当講師】 天使大学 看護栄養学部栄養学科
准教授 金澤 康子

【授業概要】 ヒトのからだは200種類の細胞が数十兆個集まった一つの集合体である。からだの主な構成成分であるタンパク質、糖質、脂質、無機質、核酸の代謝を理解すると共に、歯とそれを取り囲む口腔組織および唾液の機能、さらにはう蝕、歯周疾患の成り立ちとその予防法について理解する。

【到達目標】

- ・細胞の構造と細胞小器官のはたらきを説明できる。
- ・糖質、脂質、タンパク質の種類と構造を説明できる。
- ・糖質、脂質、タンパク質の代謝を概説できる。
- ・血糖値の調節機構を概説できる。
- ・歯の形成と脱灰の仕組みを説明できる。
- ・唾液の成分と機能を説明できる。
- ・プラークの組成と形成機構を概説できる。
- ・歯周疾患の発生メカニズムを概説できる。

【教科書】 歯科衛生学シリーズ 人体の構造と機能2 栄養と代謝
(一社)全国歯科衛生士教育協議会監修 医歯薬出版株式会社

【参考書】 プリント配布

【評価方法】 定期試験(後期)100%

【授業方法】 講義

【授業計画】

回	授 業 項 目	授 業 内 容	担 当 者
1	生体の構成要素	細胞の種類と細胞小器官 生体の化学組成	金澤 康子
2	生体構成成分と栄養素(1)	糖質・脂質の種類と構造および生 体内での役割	金澤 康子
3	生体構成成分と栄養素(2)	タンパク質の構造およびアミノ酸の種類 ビタミンやミネラルの種類と役割	金澤 康子
4	生体における化学反応	栄養素の消化と吸収、体内での脂質の輸送 酵素の性質とはたらき	金澤 康子
5	栄養素の代謝(1)	エネルギー代謝の概要 糖質の代謝	金澤 康子
6	栄養素の代謝(2)	脂質の代謝 タンパク質とアミノ酸の代謝	金澤 康子
7	タンパク質の合成	DNAと遺伝子 タンパク質の合成	金澤 康子
8	生体における恒常性の維持	血液のpHを一定に保つ仕組み 血糖値の調節機構	金澤 康子
9	歯と歯周組織の生化学	結合組織の組成と機能 歯の構成成分	金澤 康子
10	硬組織の生化学(1)	血清中のカルシウムとリン酸 骨の構成成分と石灰化のしくみ	金澤 康子

回	授業項目	授業内容	担当者
11	硬組織の生化学(2)	骨の生成と吸収 歯の脱灰と再石灰化	金澤 康子
12	唾液の生化学	唾液の成分と機能 カルシウムとリン酸の調節機構	金澤 康子
13	プラークの生化学(1)	プラークの組成と形成機構 う蝕の発症メカニズム	金澤 康子
14	プラークの生化学(2)	歯周疾患発症のメカニズム 生体防御機構と炎症反応	金澤 康子
15	まとめ	全体の復習と試験対策	金澤 康子

【科目名】 口腔組織発生学

【年次・開講期】 1年次 前期

【時間】 16時間

【単位】 1単位

【担当講師】 北海道医療大学 歯学部 口腔構造・機能発育学系 組織学分野
講師 建部 廣明 歯科医師実務経験あり

【授業概要】 歯科衛生士として必要な歯および口腔諸器官の組織学および発生学を理解する。

【到達目標】

- ・エナメル質、象牙質、セメント質の性状、構造物について説明できる。
- ・歯周組織(セメント質、歯根膜、歯槽骨、歯肉)、歯髄について説明できる。
- ・歯と歯周組織の発生を概説できる。
- ・顔面、口腔、舌、腺の発生について説明できる。

【教科書】 歯科衛生学シリーズ 歯・口腔の構造と機能 口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学
(一社)全国歯科衛生士教育協議会監修 医歯薬出版株式会社

【参考書】 プリント配布

【評価方法】 定期試験(前期)100%

【授業方法】 講義

【授業計画】

回	授業項目	授業内容	担当者
1	歯および歯周組織の構造と機能	エナメル質、象牙質、セメント質にみられる構造	建部 廣明
2	歯および歯周組織の構造と機能	歯髄、セメント質にみられる構造	建部 廣明
3	歯および歯周組織の構造と機能	歯根膜、歯槽骨、歯肉にみられる構造	建部 廣明
4	歯および歯周組織の発生	歯の発生	建部 廣明
5	歯および歯周組織の発生	歯の発生	建部 廣明
6	歯および歯周組織の発生	歯周組織の発生	建部 廣明
7	歯と歯周組織の発生	顔面と口唇の発生	建部 廣明
8	歯と歯周組織の発生	舌と腺の発生	建部 廣明

【科目名】 口腔解剖学

【年次・開講期】 1年次 前期

【時間】 30時間

【単位】 2単位

【担当講師】 札幌医科大学医学部 口腔外科学講座
講師 荻 和弘 歯科医師実務経験あり

【授業概要】 口腔解剖学は口腔、口腔周辺および歯の形態と構造の特徴を知り、将来歯科医療を担う歯科衛生士としての基本的知識の習得を目的とする。

- 【到達目標】
- ・顔面および口腔の範囲を説明できる。
 - ・固有口腔と口腔前庭にある名称を説明できる。
 - ・唾液腺の位置と構造を説明できる。
 - ・顔面及び口腔を構成する骨の名称を説明できる。
 - ・頭頸部の筋の構成と機能を概説できる。
 - ・咀嚼筋の構成と機能を説明できる。
 - ・頭頸部の脈管を概説できる。
 - ・頭頸部の神経を概説できる。
 - ・三叉神経と顔面神経の走行と線維構成を概説できる。
 - ・顎関節の構造と機能を概説できる。
 - ・歯種別の形態と特徴を説明できる。
 - ・永久歯と比較した乳歯の特徴が説明できる。
 - ・歯列と咬合を概説できる。

【教科書】 歯科衛生学シリーズ 歯・口腔の構造と機能 口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学
(一社)全国歯科衛生士教育協議会監修 医歯薬出版株式会社

【参考書】 プリント配布

【評価方法】 定期試験(前期)100%

【授業方法】 講義

【授業計画】

回	授業項目	授業内容	担当者
1	口腔付近の肉眼解剖学	口腔とは？ 口唇と頬, 口腔前庭, 固有口腔, 口峽, 舌, 咽頭	荻 和弘
2	唾液腺(口腔腺)の解剖学	唾液腺(口腔腺)	荻 和弘
3	頭頸部の骨学1	頭蓋骨(眼窩, 鼻腔, 副鼻腔, 頭蓋冠, 頭蓋底)	荻 和弘
4	頭頸部の骨学2	顔面骨(上顎骨, 下顎骨, 口蓋骨, 舌骨), 顎関節	荻 和弘
5	頭頸部の筋学	表情筋(口裂周囲の筋), 舌骨上筋(舌骨上筋群, 顎下三角とオトガイ下三角), 咀嚼筋(咬筋, 側頭筋, 内側翼突筋, 外側翼突筋)	荻 和弘
6	頭頸部の脈管学1	口腔付近に分布する動脈・静脈(総頸動脈, 外頸動脈, 内頸静脈, 頭頸部の動脈と静脈との差異)	荻 和弘
7	頭頸部の脈管学2	頭頸部のリンパ系(顎下リンパ節, オトガイ下リンパ節, 深頸リンパ節)	荻 和弘
8	頭頸部の神経学1	脳神経(三叉神経, 顔面神経)	荻 和弘

回	授業項目	授業内容	担当者
9	頭頸部の神経学2	脳神経(舌咽神経, 迷走神経, 舌下神経), 脊髄神経, 自律神経	萩 和弘
10	歯の解剖学1	歯の解剖学的用語(臨床で使用される歯の用語や方向)	萩 和弘
11	歯の解剖学2	永久歯の形態的特徴(中切歯・側切歯・犬歯)	萩 和弘
12	歯の解剖学3	永久歯の形態的特徴(小臼歯)	萩 和弘
13	歯の解剖学4	永久歯の形態的特徴(大臼歯)	萩 和弘
14	歯の解剖学5	乳歯の形態的特徴(乳歯, 永久歯との比較)	萩 和弘
15	歯の解剖学6	歯の配列と咬合、異常歯(数の異常、形態の異常、萌出時期・萌出位置の異常)	萩 和弘

【科目名】 口腔生理学

【年次・開講期】 1年次 前期

【時間】 16時間

【単位】 1単位

【担当講師】 北海道大学大学院歯学研究院 口腔機能学分野 口腔生理学教室
助教 吉澤 知彦 歯科医師実務経験あり

【授業概要】 歯科衛生士に必要な口腔の機能に関する知識を修得する。

【到達目標】

- ・口腔の様々な機能を理解する
- ・歯と歯周組織の機能と仕組みについて理解する。
- ・味をどのように感じるのか理解する
- ・下顎の運動や機能を理解する
- ・嚥下を理解する
- ・唾液の性質と役割を理解する

【教科書】 歯科衛生学シリーズ 歯・口腔の構造と機能 口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学
(一社)全国歯科衛生士教育協議会監修 医歯薬出版株式会社

【参考書】 プリント配布

【評価方法】 ミニテスト(10%), 中間試験(30%), 定期試験(前期)70%

【授業方法】 講義

【授業計画】

回	授業項目	授業内容	担当者
1	口腔生理学の意義	口腔機能概要とその役割	吉澤 知彦
2	歯と歯周組織構造と機能	歯と歯髄と口腔粘膜の感覚, 歯根膜の感覚と機能	吉澤 知彦
3	味覚	5基本味, 味覚の受容機構	吉澤 知彦
4	下顎位と顎運動	下顎位, 下顎の運動、限界運動、顎反射(小テスト)	吉澤 知彦
5	咬合と咀嚼	咀嚼, 咬合力, 咀嚼能力	吉澤 知彦
6	吸引, 嚥下	嚥下運動, 嘔吐の機序(小テスト)	吉澤 知彦
7	唾液	唾液の分泌機構, 性状と成分, 働き, 疾患との関係	吉澤 知彦
8	発声・実習	発声機構の概略、喉頭の機構、音声の生成, 言語音の形成 生理学に関する総合的実習	吉澤 知彦

【科目名】 歯型彫刻

【年次・開講期】 1年次 後期

【時間】 20時間

【単位】 1単位

【担当講師】 札幌歯科学院専門学校 歯科技工士科
専任教員 村上 珠緒 歯科技工士実務経験あり

【授業概要】 基礎的知識の再確認と各歯牙の特徴を学び、歯種の鑑別ができるようにする。
上顎中切歯の彫刻をして詳細な形態を学ぶ。

【到達目標】

- ・歯および口腔について解剖学的見地について説明できる。
- ・歯の種類と名称を列挙できる。
- ・歯の形態を彫塑できる。
- ・歯の形態の特徴を理解し、歯型彫刻の技術を習得する。

【教科書】 歯科衛生学シリーズ 歯・口腔の構造と機能 口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学
(一社)全国歯科衛生士教育協議会監修 医歯薬出版株式会社

【参考書】 プリント配布

【評価方法】 スケッチ25%、歯型彫刻25%、小テスト25%、鑑別試験の評価25%

【授業方法】 講義・実習

【授業計画】

回	授業項目	授業内容	担当者
1	歯および歯周組織の構造と機能	◎歯牙解剖実習のための基礎的知識の復習 ・歯の組織・表示法・歯式について理解する。 ・歯の鑑別方法(三徴候)について理解する。 ・セメントーエナメル境の形について理解する。 ・咬合と下顎の運動について理解する。 ◎テンポラリークラウン製作のためのアプローチ ・ポッセルトの図形、ゴシックアーチについて理解する。 ・何故、歯の形態を学ばなければならないかを理解する。	村上 珠緒
2	歯の形態 前歯の形態学的特徴 歯・口腔の構造と機能を理解するための実習	◎上下顎前歯の特徴について ◎スケッチの方法と実際 ◎上顎6前歯の唇側面のスケッチ ◎歯型彫刻のための上顎右側中切歯の5面観のスケッチ	村上 珠緒
3	歯の形態 小臼歯の形態学的特徴 歯の形を理解する実習	◎上顎小臼歯の特徴について ◎上顎小臼歯の頬側面観・咬合面観のスケッチ ◎上顎右側中切歯のステップカービング ・切り出しの使い方	村上 珠緒
4	歯の形態 大臼歯の形態学的特徴 歯の形を理解する実習	◎上顎大臼歯の特徴について ◎上顎大臼歯の頬側面観・咬合面観のスケッチ ◎上顎右側中切歯のステップカービング(枠取り)	村上 珠緒

回	授業項目	授業内容	
5	歯の形態 大臼歯の形態学的特徴 歯の形を理解する実習	◎下顎小臼歯の特徴について ◎上顎小臼歯の頬側面観・咬合面観のスケッチ ◎上顎右側中切歯のステップカービング(スケッチ) ◎上顎右側中切歯のステップカービング(近遠のカット)	村上 珠緒
6	歯の形態 大臼歯の形態学的特徴 歯の形を理解する実習	◎下顎大臼歯の特徴について ◎下顎大臼歯の頬側面観・咬合面観のスケッチ ◎上顎右側中切歯のステップカービング(唇舌のカット)	村上 珠緒
7	歯の形を理解する実習	◎上顎右側中切歯のステップカービング(咬合面のカット) ◎上顎右側中切歯のステップカービング(舌側面のカット) ◎上顎右側中切歯のステップカービング(多面体のカット)	村上 珠緒
8	歯の形を理解する実習	◎上顎右側中切歯のステップカービング(仕上げのカット) ◎上顎右側中切歯のステップカービング(完成)	村上 珠緒
9	歯の鑑別	◎歯の鑑別チャートを使ったグループ別鑑別 ◎歯の鑑別模擬試験(5F実習室)	村上 珠緒
10	歯の鑑別	◎歯の鑑別試験(5F講堂) ・鑑別時間は1歯15秒での鑑別 ・学生の時計回り方式	村上 珠緒

【科目名】 病理学

【年次・開講期】 1年次 前期

【時間】 30時間

【単位】 2単位

【担当講師】 北海道大学大学院歯学研究院 口腔病態学分野
客員教員 東野 史裕 歯科医師実務経験あり
助教 松田 彩 歯科医師実務経験あり
助教 間石 奈湖 歯科医師実務経験あり

【授業概要】 病気の原因、病気発生のしくみ、症状などについて学ぶのが病理学である。様々な病気について知ることは、それぞれの病気の治療法や予防法の意味を正しく理解するためにも重要である。前半は病気発生機序の基本を学び、後半は口腔領域に発生する病気について学習する。

【到達目標】

- ・内因、外因を概説できる。
- ・虚血、充血、うっ血の違いを説明できる。
- ・細胞、組織の変性、萎縮、壊死を概説できる。
- ・ネクローシスとアポトーシスの違いを説明できる。
- ・肥大、増生、化生、再生を概説できる。
- ・炎症の定義を説明できる。
- ・炎症を分類できる。
- ・腫瘍の定義を説明できる。
- ・良性腫瘍と悪性腫瘍の違いを説明できる。
- ・腫瘍を分類できる
- ・前がん病変を概説できる。
- ・歯の発育障害の種類と病態を概説できる。
- ・う蝕を組織学的に分類し、その特徴を説明できる。
- ・歯周疾患の病因と病態を説明できる。
- ・歯周疾患を分類しその特徴を概説できる。
- ・根尖性歯周炎を分類しその特徴を説明できる。
- ・歯髄疾患の病因と病態を説明できる。
- ・口腔粘膜疾患の種類と特徴を説明できる。
- ・口腔領域の嚢胞を概説できる。
- ・口腔領域の腫瘍を概説できる。
- ・唾液腺疾患を概説できる。

【教科書】 歯科衛生学シリーズ 疾病の成り立ち及び回復過程の促進1 病理学・口腔病理学
(一社)全国歯科衛生士教育協議会監修 医歯薬出版株式会社

【参考書】 プリント配布「イラストでわかる 歯科医学の基礎」永末書店

【評価方法】 定期試験(前期)100%

【授業方法】 講義・標本観察

【授業計画】

回	授業項目	授業内容	担当者
1	病理学序論と病因論、遺伝性疾患と奇形	内因、外因、遺伝子の基礎、染色体異常、奇形	東野 史裕
2	循環障害	水腫、虚血、充血、うっ血、梗塞	松田 彩
3	代謝障害と退行性病変	変性、萎縮、壊死、アポトーシス	東野 史裕

回	授業項目	授業内容	担当者
4	増殖と修復	肥大、増生、化生	東野 史裕
5	炎症	炎症性細胞、急性炎症、慢性炎症、転帰	東野 史裕
6	感染症	病原微生物、感染経路、日和見感染症	東野 史裕
7	免疫応答異常	免疫応答、アレルギー、自己免疫疾患	東野 史裕
8	腫瘍	悪性腫瘍、腫瘍発生機序、転移、疫学、分類	東野 史裕
9	歯の発育異常、歯の損傷と着色・付着物	歯の異常、着色、プラーク、歯石	東野 史裕
10	う蝕、象牙質・歯髄複合体の病変	齲蝕の病因、退行病変、象牙質知覚過敏、歯髄炎	間石 奈湖
11	歯周組織の病態	急性・慢性根尖性歯周炎、歯周炎、エプーリス	東野 史裕
12	口腔粘膜の病変、口腔領域の嚢胞と腫瘍	口腔・舌の発育異常、粘膜上皮の疾患、口腔癌	東野 史裕
13	口腔癌、顎骨の病変、唾液腺の病変 口腔領域の奇形、口腔組織の加齢変化	歯源性・非歯源性嚢胞、顎関節炎、シェーグレン症候群	東野 史裕
14	光学顕微鏡による標本の観察・スケッチ①	切片標本：齲蝕・歯周炎 組織標本：根尖性歯周炎・辺縁性歯周炎・エプーリス 実体顕微鏡による歯牙標本の観察	松田 彩
15	光学顕微鏡による標本の観察・スケッチ②	組織標本：エナメル上皮種・唾液腺腫瘍・扁平上皮癌 実体顕微鏡による歯牙標本の観察	松田 彩

【科目名】 微生物学

【年次・開講期】 1年次 前期

【時間】 30時間

【単位】 2単位

【担当講師】 北海道大学大学院歯学研究院
名誉教授 柴田 健一郎

【授業概要】 微生物の種類と構造ならびに感染様式を解説し、生体がどの様にそれらの微生物を認識、排除しているかという生体防御機構を解説する。また、これらの知識を基にどのようにして微生物感染を防ぐかという滅菌法、消毒法、ならびに化学療法を解説する。

【到達目標】

- ・微生物学発展の歴史ならびに感染の成り立ちと発病をを説明できる。
- ・細菌の一般的構造、グラム陽性菌と陰性菌の表層構造の違い、さらに、細菌の病原因子の構造と機能を説明できる。
- ・主なグラム陽性菌とそれらによる感染症を説明できる。
- ・主なグラム陰性菌とそれらによる感染症をを説明できる。
- ・マイコプラズマ、スピロヘータ、リケッチア、クラミジアの一般的性状を説明できる。
- ・ウイルスの一般的性状と歯科関連ウイルス感染症を説明できる。
- ・特異的ならびに非特異的防御機構の概要、自然免疫、免疫担当細胞を説明できる。
- ・抗体の産生機構ならびに5種類の抗体の構造的ならびに機能的特徴を説明できる。
- ・細胞性免疫の機構ならびに4種類のアレルギーの特徴を説明できる。
- ・口腔細菌叢成り立ち、デンタルプラークの形成機序ならびに歯肉縁下歯垢と歯肉縁上歯垢の違いを説明できる。
- ・う蝕発症機序ならびにう蝕予防法を説明できる。
- ・歯肉炎ならびに歯周炎の病因論を説明できる。
- ・口腔領域におけるウイルス性疾患、顎放線菌症、口腔カンジダ症ならびに誤嚥性肺炎の病因論を説明できる。
- ・化学療法薬の作用機序ならびに滅菌消毒法を説明できる。
- ・細菌の培養法ならびに顕微鏡観察法を説明できる。

【教科書】 歯科衛生士シリーズ 疾病の成り立ち及び回復過程の促進2 微生物学
(一社)全国歯科衛生士教育協議会監修 医歯薬出版株式会社

【参考書】 プリント配布

【評価方法】 講義ごとの復習小テスト10%、中間試験45%、定期試験(前期)45%

【授業方法】 講義

【授業計画】

回	授業項目	授業内容	担当者
1	疾病と微生物学	微生物学発展の歴史ならびに感染の成り立ちと発病	柴田 健一郎
2	微生物の一般的性状と病原因子	細菌の一般的構造、グラム陽性菌と陰性菌の表層構造の違い、さらに、細菌の病原因子の構造と機能	柴田 健一郎
3	主な細菌感染症Ⅰ	主なグラム陽性菌とそれらによる感染症	柴田 健一郎
4	主な細菌感染症Ⅱ	主なグラム陰性菌とそれらによる感染症	柴田 健一郎
5	その他の微生物の性状	マイコプラズマ、スピロヘータ、リケッチア、クラミジアの一般的性状	柴田 健一郎

回	授業項目	授業内容	担当者
6	ウイルスの一般的性状と感染症	ウイルスの一般的性状と歯科関連ウイルス感染症	柴田 健一郎
7	生体防御機構	特異的ならびに非特異的防御機構の概要、自然免疫、免疫担当細胞	柴田 健一郎
8	(体)液性免疫	抗体の産生機構ならびに5種類の抗体の構造的ならびに機能的特徴	柴田 健一郎
9	細胞性免疫とアレルギー	細胞性免疫の機構ならびに4種類のアレルギーの特徴	柴田 健一郎
10	口腔微生物叢	口腔細菌叢成り立ち、デンタルプラークの形成機序ならびに歯肉縁下歯垢と歯肉縁上歯垢の違い	柴田 健一郎
11	う蝕	ミュータンス連鎖球菌のう蝕原性を基にしてう蝕発症機序ならびにう蝕予防法	柴田 健一郎
12	歯周病	歯肉炎ならびに歯周炎の病因論について	柴田 健一郎
13	その他の口腔感染症	口腔領域におけるウイルス性疾患、顎放線菌症、口腔カンジダ症ならびに誤嚥性肺炎の病因論について	柴田 健一郎
14	化学療法と滅菌消毒	化学療法薬の作用機序ならびに滅菌消毒法	柴田 健一郎
15	細菌の培養と顕微鏡観察	細菌の培養法ならびに顕微鏡観察法	柴田 健一郎

【科目名】 薬理学

【年次・開講期】 1年次 前期

【時間】 30時間

【単位】 2単位

【担当講師】 北海道大学大学院歯学研究院
名誉教授 鈴木 邦明

【授業概要】 歯科衛生士は歯科臨床の場において多くの薬物に関わるので、薬物から最大の効果を引き出し、安全に使用するための知識を身につける必要があります。近年は、高齢化に伴い歯科以外の疾患をもち、多くの薬物を投与されている患者が受診する機会も増えています。それらの薬が歯科治療に与える影響、歯科治療に使用する薬との相互作用に関する知識も必要であり、薬物全般に関して学ぶ必要があります。これらの知識は服薬指導を行う上での基礎としても大切です。

【到達目標】

- ・薬理作用の基本形式と分類、用量反応関係、薬物動態を説明できる。
- ・薬物の作用機序、適用方法の種類とその特徴、併用と連用の影響、薬物の相互作用と副作用を説明できる。
- ・医薬品の分類とそれぞれの表示および保管方法、薬物を規制する法律を説明できる。
- ・中枢及び末梢神経作用薬、循環器、呼吸器及び消化器系作用薬の薬理作用、作用機序、副作用を説明できる。
- ・止血薬、抗炎症薬、局所麻酔薬、抗感染症薬及び消毒薬の薬理作用、作用機序、副作用を説明できる。
- ・う蝕予防薬、歯内療法薬、歯周疾患治療薬及び顎・口腔粘膜疾患治療薬の薬理作用、作用機序、副作用を説明できる。

【教科書】 歯科衛生学シリーズ 疾病の成り立ち及び回復過程の促進3 薬理学
(一社)全国歯科衛生士教育協議会監修 医歯薬出版株式会社

【参考書】 配布するプリント
現代歯科薬理学第6版 医歯薬出版

【評価方法】 定期試験(前期)80%、小テスト20%

【授業方法】 講義

【授業計画】

回	授業項目	授業内容	担当者
1	総論(1):薬物の作用	薬物療法の種類、薬理作用の様式、基本形式、分類、用量反応関係と薬用量の用語、薬理作用の機序	鈴木 邦明
2	総論(2):薬物動態	生体膜通過様式、吸収、分布、代謝、排泄、生物学的半減期	鈴木 邦明
3	総論(3):薬物の適用方法の種類と特徴、薬物の作用に影響を与える要因	薬物の適用方法の種類、血中濃度の推移、生物学的利用能、薬効に影響する因子、薬物の連用、併用、相互作用	鈴木 邦明
4	総論(4):薬物の副作用、有害作用、医薬品を適用する際の注意	薬物の有害作用の分類と原因、一般的副作用、歯科領域における副作用、副作用・有害作用の予知と回避	鈴木 邦明
5	総論(5):薬物の取り扱い、薬物と法律・薬物と医薬品	医薬品の剤形、処方せん、配合変化、薬物の保存方法、医薬品医療機器法、日本薬局方、毒薬・劇薬の表示と保管、麻薬及び向精神薬取締法、覚せい剤取締法	鈴木 邦明
6	各論(1):ビタミンとホルモン、末梢神経系に作用する薬物(1)	ビタミン、ホルモン、アドレナリン受容体、アセチルコリン受容体、交感神経と副交感神経の働きと神経伝達物質、交感神経作動薬と遮断薬	鈴木 邦明

回	授業項目	授業内容	担当者
7	各論(2):末梢神経系に作用する薬物(2)、中枢神経系に作用する薬物(1)	副交感神経作動薬と遮断薬、全身麻酔薬、アルコール類、催眠薬・抗不安薬、抗てんかん薬	鈴木 邦明
8	各論(3):中枢神経系に作用する薬物(2)、循環器系に作用する薬物	向精神薬、中枢神経興奮薬、パーキンソン病治療薬、アルツハイマー病治療薬、高血圧治療薬、不整脈治療薬、心不全治療薬、狭心症治療薬、脂質異常症治療薬	鈴木 邦明
9	各論(4):腎臓に作用する薬物、呼吸器系に作用する薬物、消化器系に作用する薬物、血液に作用する薬物	腎臓の機能と構造、主な利尿薬と作用機序、気管支喘息治療薬、鎮咳薬、去痰薬、消化性潰瘍治療薬、鎮痙薬、止血機構、止血薬、抗血栓薬、抗貧血薬	鈴木 邦明
10	各論(5):免疫と薬、悪性腫瘍と薬、代謝性疾患治療薬、炎症と薬(1)	免疫増強薬、免疫抑制薬、抗アレルギー薬、悪性腫瘍とは、抗悪性腫瘍薬、糖尿病治療薬、骨粗鬆症治療薬、アラキドン酸カスケード、炎症のケミカルメディエーター	鈴木 邦明
11	各論(6):炎症と薬(2)、痛みと薬、局所麻酔薬(1)	ステロイド性抗炎症薬、非ステロイド性抗炎症薬、解熱鎮痛薬、痛覚の発生と伝導、オピオイド系鎮痛薬、非オピオイド系鎮痛薬、局所麻酔薬の作用機構、血管収縮薬の併用	鈴木 邦明
12	各論(7):局所麻酔薬(2)、抗感染症薬(1)	局所麻酔薬の分類と化学構造、適用法、感染症と抗感染症薬、抗感染症薬の作用機序と副作用、β-ラクタム系抗菌薬	鈴木 邦明
13	各論(8):抗感染症薬(2)、消毒に使用する薬(1)	マクロライド系抗菌薬、テトラサイクリン系抗菌薬、ニューキノロン系抗菌薬、消毒薬の作用機序、消毒薬の分類、酸化剤、ハロゲン化合物、アルコール類、アルデヒド類	鈴木 邦明
14	各論(9):消毒に使用する薬(2)、う蝕予防薬、歯内療法薬(1)	フェノール類、界面活性剤、HBVおよびHIVに対する消毒薬、フッ化物の臨床応用、歯髄の保存に用いる薬物、根管治療に用いる薬物	鈴木 邦明
15	各論(10):歯内療法薬(2)、歯周疾患治療薬、顎・口腔粘膜疾患と薬、漢方医学と薬物	象牙質知覚過敏症に用いる薬物、歯周疾患治療薬、洗口薬、口臭治療に用いる薬物、炎症性疾患、口腔粘膜疾患、顎関節症、口腔乾燥症、神経疾患に用いる薬物、漢方医学とは、漢方薬とは	鈴木 邦明

【科目名】 保健生態学 I (公衆衛生学)

【年次・開講期】 1年次 前期

【時 間】 30時間

【単 位】 2単位

【担当講師】 北海道医療大学歯学部 口腔構造・機能発育学系 保健衛生学分野
講師 水谷 博幸 歯科医師実務経験あり

【授業概要】 衛生・公衆衛生学は、人間の健康問題を様々な要因の相互関係から考えていくと同時に、高校までの知識を身に付けているかを確認できる科目である。自分たちのおかれている地球・国・地域・集団における衛生・保健に関係する要因を正確に把握し、それを解析することのできる能力が必要となってくる。本教科ではこの力を養うために、自分の周囲の環境、疾病の予防方法、さらには地域・国家における保健機構について学習する。

【到達目標】

- ・健康の定義と国民の権利を説明できる。
- ・第一次予防、第二次予防、第三次予防を説明できる。
- ・疾病や異常の発生要因(因子)を列挙できる。
- ・疫学研究の方法を概説できる。
- ・わが国と世界における人口の現状と推移を概説できる。
- ・人口の高齢化を概説できる。
- ・健康と環境の関係を説明できる。
- ・地球環境の変化とその対応を説明できる。
- ・感染症の概念と感染成立の三要因を説明できる。
- ・感染症の動向とその対策を説明できる。
- ・食中毒の分類と特徴を説明できる。
- ・食品の安全確保のための方策を列挙できる。
- ・地域保健活動を担う組織の仕組みと特徴を概説できる。
- ・地域保健活動の基本的な進め方を概説できる。
- ・わが国の母子保健の概略を説明できる。
- ・学校保健機構を概説できる。
- ・生活習慣病のリスクファクターを列挙できる。
- ・産業保健の目的を説明できる。
- ・トータルヘルスプロモーションプラン(THP)を説明できる。

【教科書】 歯科衛生学シリーズ 保健生態学
(一社)全国歯科衛生士教育協議会監修 医歯薬出版株式会社

【参考書】 プリント配布

【評価方法】 定期試験(前期)100%

【授業方法】 講義

【授業計画】

回	授 業 項 目	授 業 内 容	担当者
1	<総論> 1.衛生・公衆衛生の定義 2.健康の概念 3.予防医学の考え方	・衛生・公衆衛生学の概念並びにその範囲を理解する。 ・「健康」という意味を理解する。 ・プライマリヘルスケアとヘルスプロモーションについて学ぶ。	水谷 博幸
2	<疫学> 1.疫学の概念 2.疫学要因 3.疫学の実際	・疫学という研究方法を理解する。 ・健康障害因子を理解する。 ・疫学研究の方法論を学ぶ。	水谷 博幸

回	授 業 項 目	授 業 内 容	担 当 者
3	<人口> 1.人口静態統計 2.人口動態統計 3.生命表	<ul style="list-style-type: none"> ・国家の基本となる人口ならびに人口構成を理解する。 ・少子・高齢化によってどのような社会変化をきたしてきたかを理解する。 ・わが国と諸外国との人口統計を比較する。 	水谷 博幸
4	<健康と環境> 1.健康と環境 2.温熱環境 3.空気 4.放射線(光線・電磁波) 5.日本の気候 6.水の衛生	<ul style="list-style-type: none"> ・生活環境を理解する。 ・生命維持に必要な空気・水などの衛生がどのように守られているかを知る。 ・有害環境因子はどのようなものであるかを知る。 ・公害の種類を知り、わが国の歴史的公害事件を学ぶ。 ・地球環境の保全について学ぶ。 	水谷 博幸
5	<感染症> 1.感染症 2.感染症の予防 3.急性・慢性疾患の予防 4.主要な感染症	<ul style="list-style-type: none"> ・感染の定義について学ぶ。 ・感染症の要因を知り、その予防法について学ぶ。 ・主な感染症の動向を知り、対策を理解する。 	水谷 博幸
6	<食品と健康> 1.国民栄養所要量 2.食中毒 3.食品添加物	<ul style="list-style-type: none"> ・国民健康・栄養調査について学ぶ。 ・食中毒の原因別分類、発生頻度などを十分に理解する。 ・食品添加物の種類と機能について学ぶ。 	水谷 博幸
7	<地域保健> 1.地域保健活動 2.地域保健問題 3.地域保健計画	<ul style="list-style-type: none"> ・保健所と保健センターについて学ぶ。 ・保健所の業務について学ぶ。 	水谷 博幸
8	<母子保健> 1.母子保健法 2.母子保健統計	<ul style="list-style-type: none"> ・母子保健に用いられる用語の定義を学ぶ。 ・妊産婦や乳幼児の保健について学ぶ。 	水谷 博幸
9	<学校保健> 1.学校保健機構 2.学校保健教育 3.学校保健管理	<ul style="list-style-type: none"> ・学校保健機構について学ぶ。 ・学校保健の健康診断について学ぶ。 ・学校三師の役割を学ぶ。 	水谷 博幸
10	<成人・高齢者保健> 1.フレイル 2.ロコモティブシンドローム	<ul style="list-style-type: none"> ・日本の現状および未来を考える。 ・言葉の意味を学ぶ。 	水谷 博幸
11	<産業保健> 1.労働環境と健康 2.労働衛生の三管理	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所における従業員の保健管理を知る。 ・THP(トータルヘルスプロモーションプラン)について学ぶ。 	水谷 博幸

【科目名】 保健生態学Ⅱ（口腔衛生）

【年次・開講期】 1年次 後期

【時間】 40時間

【単位】 2単位

【担当講師】 北海道大学大学院歯学研究院 予防歯科学教室
助教 竹原 順次 歯科医師実務経験あり

【授業概要】 歯・口腔の健康を保持・増進するために、歯・口腔の形態や機能、歯科疾患についての基本的知識を習得し、歯科疾患に対して適切な予防処置や歯科保健指導を実践できるようになる。

【到達目標】

- ・歯・口腔の健康の定義を説明できる。
- ・唾液の働きについて説明できる。
- ・歯・口腔の機能を説明できる。
- ・歯・口腔の付着物と沈着物を説明できる。
- ・口腔清掃の意義を説明できる。
- ・歯磨剤の組成を説明できる。
- ・う蝕発生のメカニズムを説明できる。
- ・う蝕要因に対する予防法を説明できる。
- ・フッ化物の毒性を認識し、正しい対処法を理解できる。
- ・フッ化物応用によるう蝕予防法を列挙できる。
- ・歯周疾患のリスクファクターを列挙できる。
- ・歯周疾患の全身に与える影響が分かる。
- ・口臭を起こす要因を列挙し、予防について説明できる。
- ・健康日本21の地域歯科保健に関係する健康づくり対策の現状を理解できる。
- ・妊産婦への歯科保健指導の要点を説明できる。
- ・1歳6か月児・3歳児健康診査の目的を説明できる。
- ・学校保健の対象者を列挙し、意義を説明できる。
- ・学校歯科健康診断のCOとGOの事後措置を説明できる。
- ・成人期の口腔保健管理を説明できる。
- ・高齢者の歯科保健の特徴を列挙できる。
- ・口腔領域の職業性疾病とそれに対する特殊健康診断について説明できる。

【教科書】 歯科衛生学シリーズ 保健生態学
(一社)全国歯科衛生士教育協議会監修 医歯薬出版株式会社

【参考書】 プリント配布

【評価方法】 定期試験(後期)100%

【授業方法】 講義

【授業計画】

回	授業項目	授業内容	担当者
1	総論	・歯・口腔の健康と予防 ・歯・口腔の健康(歯・口腔の構造)	竹原 順次
2	総論	・歯・口腔の健康(歯・口腔の発生と成長・発育から) ・歯・口腔の付着物・沈着物(プラークまで)	竹原 順次
3	総論 口腔清掃	・歯・口腔の付着物・沈着物(マテリアルバから) ・口腔清掃の意義 ・口腔清掃法 ・人工的清掃法の分類と用具 ・不適切な口腔清掃による為害性 ・歯磨剤と洗口液・洗口剤	竹原 順次

回	授業項目	授業内容	担当者
4	歯科疾患の疫学 う蝕の予防	<ul style="list-style-type: none"> ・う蝕の疫学 ・う蝕発生のメカニズム ・う蝕の発生要因 ・う蝕活動性 ・う蝕の予防法 	竹原 順次
5	フッ化物によるう蝕予防	<ul style="list-style-type: none"> ・フッ化物の一般的性状と用語 ・人間生態系におけるフッ化物 ・フッ素の代謝 ・フッ化物の毒性 ・フッ化物応用によるう蝕予防方法 ・フッ化物のう蝕予防メカニズム ・ライフステージに応じたフッ化物応用法 	竹原 順次
6	歯科疾患の疫学 歯周疾患の予防 その他の疾患・異常の予防	<ul style="list-style-type: none"> ・歯周疾患の疫学 ・歯周疾患の症状と分類 ・歯周疾患の発生機序 ・歯周疾患の全身に与える影響 ・歯周疾患の予防手段と処置 ・口腔癌/不正咬合/口臭症/口腔乾燥症 	竹原 順次
7	地域保健・公衆衛生 災害時の歯科保健	<ul style="list-style-type: none"> ・地域社会と地域保健の概念 ・地域保健の組織 ・地域保健の新たな概念 ・地域保健活動の進め方 ・健康づくり対策と地域歯科保健 ・大規模災害時の保健医療対策 ・被災地での歯科保健活動 	竹原 順次
8	ライフステージごとの 口腔保健管理 母子保健	<ul style="list-style-type: none"> ・母子口腔保健 ・母子保健の目的および概要 ・母子保健 ・小児保健 ・歯・口腔について ・母子保健の現状と今後 	竹原 順次
9	ライフステージごとの 口腔保健管理 学校保健	<ul style="list-style-type: none"> ・小児期の口腔保健 ・学校保健の意義および概要 ・学校保健の活動と組織 ・学校歯科保健 	竹原 順次
10	ライフステージごとの 口腔保健管理 成人保健 老人(高齢者)保健 産業保健 精神保健 国際保健	<ul style="list-style-type: none"> ・成人期・老年期の口腔保健 ・成人保健の意義と特徴 ・成人保健活動の現状 ・成人保健対策 ・成人期の歯科保健 ・老人(高齢者)保健の意義 ・老人(高齢者)保健のための行政組織と関係法規 ・フレイル ・産業保健の概念 ・職業性疾病 ・産業保健管理 ・産業保健活動 ・精神障害者の歯科保健 ・国際協力 ・口腔保健戦略と目標 	竹原 順次

【科目名】 保健生態学Ⅲ

【年次・開講期】 3年次 後期

【時 間】 16時間

【単 位】 1単位

【担当講師】 北海道大学大学院歯学研究院 口腔健康科学分野
助教 竹原 順次 歯科医師実務経験あり

【授業概要】 歯科衛生士国家試験の出題基準に応じた、歯・口腔の健康と予防にかかわる人間と社会の仕組みに関する知識の整理を行う。

【到達目標】

- ・歯・口腔の発生と成長発育について説明できる。
- ・歯と口腔環境について説明できる。
- ・歯・口腔付着物、沈着物について説明できる。
- ・口腔清掃具、ブラッシング法、歯磨剤などについて説明できる。
- ・う蝕の予防法を説明できる。
- ・歯周病の予防を説明できる。
- ・その他の歯科疾患の予防について説明できる。
- ・地域歯科保健活動について説明できる。

【教科書】 歯科衛生学シリーズ 保健生態学
(一社)全国歯科衛生士教育協議会監修 医歯薬出版株式会社
歯科衛生士テキスト『口腔衛生学』第2版 学健書院

【参考書】 プリント配布

【評価方法】 定期試験(後期)100%

【授業方法】 講義

【授業計画】

回	授 業 項 目	授 業 内 容	担当者
1	1. 口腔衛生学総論 2. 口腔清掃	国家試験対策 問題プリント活用 歯・口腔の機能 歯・口腔の付着物、沈着物 ブラッシング法 歯磨剤の種類と効用 補助清掃具	竹原 順次
2	3. う蝕の予防 4. 歯周病の予防	国家試験対策 問題プリント活用 う蝕の成り立ち う蝕予防法 歯周病の原因・リスク 歯周病予防	竹原 順次
3	5. その他の疾患の予防 6. う蝕の疫学 7. 歯周疾患の疫学	国家試験対策 問題プリント活用 口臭の原因と予防 不正咬合の原因と予防 う蝕の疫学 歯周疾患の疫学	竹原 順次
4	8.地域歯科保健指導	国家試験対策 問題プリント活用 健康目標 各ライフステージ別の指導 集団指導の方法	竹原 順次

【科目名】 法律と制度

【年次・開講期】 2年次 前期

【時間】 16時間

【単位】 1単位

【担当講師】 札幌歯科学院専門学校
総務部長 濱 秀樹 歯科医師実務経験あり

【授業概要】 歯科衛生士としての身分や業務について、さらに関連のある歯科医師や歯科技工士等と共同して歯科保健医療の普及と向上のために必要な知識を習得する。

【到達目標】

- ・歯科衛生士資格の成り立ちと目的を説明できる。
- ・歯科衛生士法・歯科医師法・歯科技工士法に規定されている義務・責務を説明できる。
- ・歯科口腔保健推進に関する法律が説明できる。
- ・医療法の成り立ちと目的と遵守事項について説明できる。
- ・その他関係法規を列挙し、理解できる。
- ・社会保障制度についての種類の理解ができる。

【教科書】 歯科衛生学シリーズ 歯・口腔の健康と予防にかかわる人間と社会の仕組み2
保健・医療・福祉の制度
(一社)全国歯科衛生士教育協議会監修 医歯薬出版株式会社

【評価方法】 定期試験(前期)100%

【授業方法】 講義

【授業計画】

回	授業項目	授業内容	担当者
1	歯科衛生士と法律その1	・衛生行政の目的と組織 ・歯科衛生士法の成り立ち	濱 秀樹
2	歯科衛生士と法律その2	・歯科衛生士法 ・歯科医師法 ・歯科技工士法	濱 秀樹
3	歯科衛生士と法律その3	・歯科口腔保健推進に関する法律 ・医療法	濱 秀樹
4	医療関係職種	・医療関係職種 ・歯科医療従事者とその法律	濱 秀樹
5	その他の関係法規	・薬事に関する法規 ・地域保健に関連する法規 ・食品衛生法や感染症の概要	濱 秀樹
6	社会保障	・社会保障の種類、特徴、法律 ・介護保険制度の仕組み ・歯科衛生士に関係する社会福祉	濱 秀樹
7	医療の動向 その他	・医療の動向 ・国民の受療状況 ・歯科医療従事者数の推移 ・国民医療費の範囲と動向	濱 秀樹
8	まとめと試験問題	・重点項目の復習 ・問題解説	濱 秀樹

【科目名】 保健情報統計学

【年次・開講期】 3年次 後期

【時 間】 20時間

【単 位】 1単位

【担当講師】 講師選定中

【授業概要】 歯科疾患の疫学的特徴が歯科保健指導に応用でき、疾患の予防に役立つことを理解する。また、疫学的特徴を表すために必要な歯科疾患の指数の意味、応用法の基本を理解する。

- 【到達目標】
- ・疫学の目的を説明できる。
 - ・調査方法を分類し、説明できる。
 - ・研究方法の分類が分かる
 - ・歯科疾患の指標を列記できる。
 - ・う蝕の指標を説明できる。
 - ・歯周疾患の指標を説明できる。
 - ・口腔清掃状態の指標を説明できる。
 - ・保健情報の収集方法が分かる。
 - ・基本統計の値が分かる。

【教科書】 歯科衛生学シリーズ 歯・口腔の健康と予防にかかわる人間と社会の仕組み3保険情報統計学
(一社)全国歯科衛生士教育協議会監修 医歯薬出版株式会社

【参考書】 プリント配布

【評価方法】 定期試験(後期)100%

【授業方法】 講義

【授業計画】

回	授 業 項 目	授 業 内 容	担当者
1	1章 保険情報と保健統計 (1) 保健情報とは (2) 保健統計とは (3) 保健情報の種類 (4) 国家統計調査	データと除法、保健情報 統計へのスタンス、保健統計学の目標 基礎と臨床との違い、EBMとは、EBMの手順 統計法と統計報告調査法、口腔保健に関連の有る国家統計 学校保健統計	
2	2章 保健情報と疫学 (1) 疫学総論 (2) 健康障害の発生要因 (3) 疫学の方法論 (4) スクリーニング	疫学とは何か、 疫学における暴露、要因論、多要因原因説、疾病の原因と結果の関係 調査方法の分類、有病と罹患、疫学研究方法の分類、観察疫学、介入疫学 疾病と検査の関係	
3	3章 歯科疾患の指標 (1) 数量化と指数 (2) う蝕の指数 (3) 歯周疾患の指数 (4) 口腔清掃状態の指数 (5) その他の指数	数量化、指標と指数 う蝕の特徴、う蝕の診断基準、う蝕の表現方法、 歯周疾患の評価の条件、全部診査法と部分診査法、PMA、GI、PI、PDI、 GbCount、GPI、CPI OHI,PHP、Pl-I、PCR、 CFI, DAI	

回	授業項目	授業内容	担当者
4	4章 保健情報の分析手順 (1) 情報の収集 (2) 疫学調査の進め方 5章 保健統計の方法 (1) データのまとめ方 1) データの尺度 2) データの集計 3) 基本統計量 4) 度数分布 5) 単純集計, クロス集計	有病率、罹患率、発生率、有病率と発生率の関係 データの尺度、集計、度数分布、単純集計、クロス集計 名義・順序・間隔・比率尺度 集計方法 代表値, ばらつき 度数分布表, 度数分布図 定義, 集計例	
5	6章 保健情報の分析演習 (1) データの分析法 1) 相関 2) 推定 3) 検定 4) 検定結果の解釈 7章 情報の保護と倫理	相関、推定と検定、検定結果の解釈 定義, 相関係数 推定とは、母平均の推定 標本平均の差の検定(t検定), カイ二乗検定	

【科目名】 歯科衛生士学総論

【年次・開講期】 1年次 前期

【時間】 16時間

【単位】 1単位

【担当講師】 札幌歯科学院専門学校
歯科衛生士科長 三好 弘祐 歯科医師実務経験あり
専任教員 市川 智恵 歯科衛生士実務経験あり

【授業概要】 歯科衛生士業務を実践して人々の健康づくりを支援するために、保健医療人としての基本的態度を理解し、多様な科目において知識や技術を習得する態度および倫理的思考の基礎を習得する。

【到達目標】

- ・歯科衛生と健康とのかわりを説明できる。
- ・歯科衛生士の誕生と歯科衛生業務の歴史について理解する。
- ・予防の概念を理解できる。
- ・歯科衛生業務において、歯科衛生過程を活用する意義を知ることができる。
- ・歯科衛生士法に基づく歯科衛生業務について概説できる。
- ・歯科衛生士と倫理について説明ができる。

【教科書】 歯科衛生学シリーズ 歯科衛生士学総論
(一社)全国歯科衛生士教育協議会監修 医歯薬出版株式会社

【参考書】 プリント配布

【評価方法】 出席状況・レポート提出10% 定期試験(前期)90%

【授業方法】 講義

【授業計画】

回	授業項目	授業内容	担当者
1	1章 歯科衛生学とは	・衛生について ・歯科衛生と健康	市川 智恵
2	2章 歯科衛生士の歴史	・歯科衛生士の歴史 ・歯科衛生業の発展 ・歯科衛生士の育成教育	市川 智恵
3	3章 歯科衛生活動のための理論	・予防の概念 ・歯科衛生の考え方～クリティカル思考～	市川 智恵
4	4章 歯科衛生過程	・歯科衛生過程とは ・歯科衛生過程の利点 ・歯科衛生過程の流れ	市川 智恵
5	5章 歯科衛生士法と 歯科衛生士業務	・業務独占と名称独占 ・歯科衛生士の資格と免許 ・歯科衛生士の役割	三好 弘祐
6	5章 歯科衛生士法と 歯科衛生士業務	・医療安全管理 ・感染予防対策	三好 弘祐
7	6章 歯科衛生士と 医療倫理	・インフォームドコンセント ・歯科衛生士の倫理綱領	三好 弘祐
8	7章 歯科衛生士の 活動と組織	・歯科衛生士の組織 ・歯科衛生活動の就業先 ・歯科衛生活動の現場	市川 智恵

【科目名】 医療倫理学

【年次・開講期】 3年次 前期

【時間】 16時間

【単位】 1単位

【担当講師】 札幌歯科学院専門学校
学院長 尾崎 勝巳 歯科医師実務経験あり

【授業概要】 信頼される医療人としての基本を身に付け、実践につなげる。

- 【到達目標】
- ・医療従事者の基本的義務を理解する。
 - ・患者中心の医療、歯科衛生士の社会的使命を理解する。
 - ・歯科医療従事者の職業倫理に関する規範について概説できる。
 - ・患者の権利について概説できる。
 - ・人を対象とする医学研究の倫理について概説できる。
 - ・バイエシックスとは何かについて概説できる。
 - ・インフォームド・コンセント、インフォームド・チョイスについて概説できる。
 - ・セカンド・オピニオンについて説明できる。
 - ・研究と医療倫理のかかわりについて説明できる。

【教科書】 歯科衛生学シリーズ 歯科医療倫理
(一社)全国歯科衛生士教育協議会監修 医歯薬出版株式会社

【参考書】

【評価方法】 定期試験(前期)100%

【授業方法】 講義・実習

【授業計画】

回	授業項目	授業内容	担当者
1	なぜ医療倫理を学ぶのか	・伝統的な医の倫理から新しい医の倫理へ／医療従事者の基本的義務／患者中心の医療／歯科医療に関する権利と義務、および歯科衛生士の社会的使命	尾崎 勝巳
2	医療倫理に関する規範とバイオエシックス	・医の倫理に関する規範および国際規範／バイオエシックス(生命倫理学)	尾崎 勝巳
3	インフォームド・コンセント①	・インフォームド・コンセントとは何か／インフォームド・コンセントの実際①	尾崎 勝巳
4	インフォームド・コンセント②	・インフォームド・コンセントの実際②／インフォームド・コンセントと患者中心の医療	尾崎 勝巳
5	研究と医療倫理	・なぜ、研究で医療倫理が必要なのか。 ・倫理的配慮の要件 ・研究への依頼協力	尾崎 勝巳
6	歯科医療倫理を考えるうえで必要な行動	・医療現場における人の行動／患者の行動 ・歯科医療従事者の行動 ・他職種連携コミュニケーション	尾崎 勝巳
7	その他歯科医療従事者に必要とされること	・患者の個人情報の取り扱いについて／著作権について／医療従事者個人名をあげた臨床での問題について／臨床実習での身だしなみの意義について	尾崎 勝巳
8	医療倫理に関連する規範と法令	・歯科衛生士の職業倫理に関する規範／歯科衛生士の法的義務	尾崎 勝巳

【科目名】 保存修復・歯内療法（保存修復）

【年次・開講期】 1年次 後期

【時間】 16時間

【単位】 1単位

【担当講師】 北海道大学大学院歯学研究院 口腔健康科学分野 歯科保存学教室
助教 星加 修平 歯科医師実務経験あり

【授業概要】 保存修復は、日常の歯科診療の中で最も頻度が高く、根幹的な部分であるため、歯の硬組織疾患並ならびに、保存修復法の種類・原則・術式などについての理解を目的とする。

【到達目標】

- ・歯を保存する重要性を理解できる。
- ・保存修復学で扱う疾患を理解できる。
- ・歯の修復に用いる器材を説明できる。
- ・コンポジットレジン修復の特徴と手順を理解できる。
- ・グラスアイオノマーセメント修復の特徴と手順を理解できる。
- ・間接法修復の種類を列挙できる。
- ・保存修復における歯科衛生士の役割について理解できる。

【教科書】 歯科衛生学シリーズ 歯の硬組織・歯髄疾患 保存修復・歯内療法
(一社)全国歯科衛生士教育協議会監修 医歯薬出版会社

【参考書】 プリント配布

【評価方法】 定期試験(前期)100%

【授業方法】 講義

【授業計画】

回	授業項目	授業内容	担当者
1	保存修復学概論	・歯の保存療法の歯科における位置づけ ・歯を保存する目的・種類・手順・適応および禁忌	星加 修平
2	硬組織疾患(う蝕を除く) 硬組織疾患(う蝕)	・歯の外傷と損傷 ・う蝕の病院と病態	星加 修平
3	硬組織疾患(う蝕)	・エナメル質う蝕 ・象牙質う蝕 ・う蝕の分類・好発部位	星加 修平
4	窩洞	・窩洞の分類(ブラックの分類など) ・窩洞形態の5条件 ・接着性窩洞と非接着性窩洞	星加 修平
5	診査および切削器具・器械	・保存修復治療の一連の流れ ・回転切削器具 ・前準備(防湿・歯間分離・歯肉圧排・隔壁法)	星加 修平
6	コンポジットレジン修復	・コンポジットレジンの組成・種類・適応 ・接着システム ・コンポジットレジン修復の手順	星加 修平

回	授業項目	授業内容	担当者
7	ガラスイオノマー セメント修復 歯科用セメント	<ul style="list-style-type: none"> ・ガラスイオノマーセメント修復の手順 ・暫間修復(仮封・仮着)用セメント ・合着用セメント 	星加 修平
8	間接法修復 その他の修復法	<ul style="list-style-type: none"> ・窩洞形成概略 ・印象採得 ・咬合採得 ・模型調整 ・ワックスアップ ・埋没・鑄造・合着 ・ラミネートベニア修復 ・CAD/CAMシステム ・歯の漂白法 	星加 修平

【科目名】 保存修復・歯内療法（歯内療法）

【年次・開講期】 1年次 後期

【時間】 16時間

【単位】 1単位

【担当講師】 北海道医療大学歯学部 総合教育学系 歯学教育開発学
教授 伊藤 修一 歯科医師実務経験あり

【授業概要】 歯内療法学は、歯の内部にある歯髄ならびに歯髄疾患に継発する根尖部歯周組織の疾患の病態、診断および治療法を理解し修得する。

【到達目標】

- ・歯内療法学の目的が説明できる。
- ・歯髄疾患の分類と症状の列挙ができる。
- ・歯髄保存療法の概略と使用薬剤の説明ができる。
- ・歯髄除去療法の種類と適応症の理解ができる。
- ・根管治療の概念を理解する。
- ・根管充填法の目的が説明できる。
- ・根管充填法の種類と術式、特徴が理解できる。
- ・外科的歯内療法の種類と目的が理解できる。

【教科書】 歯科衛生学シリーズ 歯の硬組織・歯髄疾患 保存修復・歯内療法
(一社)全国歯科衛生士教育協議会監修 医歯薬出版会社

【参考書】 プリント配布

【評価方法】 定期試験(前期)100%

【授業方法】 講義

【授業計画】

回	授業項目	授業内容	担当者
1	歯内療法の概要 歯髄および根尖歯周組織疾患治療基本的考え方	・歯内療法学の意義と内容 ・歯内療法学の目的 ・歯髄炎の原因 ・歯髄および根尖歯周組織の構造と機能と特徴 ・歯髄および根尖歯周組織の疾患の病態と診断 ・歯髄疾患とその分類、根尖歯周疾患とその分類	伊藤 修一
2	歯髄および根尖歯周組織疾患治療基本的考え方2	・歯髄疾患および根尖歯周疾患の治療の基本的考え方 ・歯科衛生士と歯内療法	伊藤 修一
3	歯髄の保存療法	・歯髄鎮静療法 ・歯髄鎮静療消炎薬 ・間接歯髄覆髄法 ・直接歯髄覆髄法 ・暫間的間接覆髄法	伊藤 修一
4	歯髄の除去療法1	・生活断髄法 ・生活断髄法の適応症 ・生活断髄法の術式・使用器具	伊藤 修一

回	授業項目	授業内容	担当者
5	歯髄の除去療法2	<ul style="list-style-type: none"> ・麻酔抜髄法 ・麻酔抜髄法の適応症 ・麻酔抜髄法の術式・使用器具 	伊藤 修一
6	感染根管治療 根管充填	<ul style="list-style-type: none"> ・根尖歯周疾患の治療の術式および使用器具 ・根管充填の考え方 ・根管充填の時期の判定 ・根管充填の術式および使用する器具 	伊藤 修一
7	その他の治療法 歯内療法における偶発症	<ul style="list-style-type: none"> ・外科的歯内療法 	伊藤 修一
8	その他の治療法 歯内療法における偶発症	<ul style="list-style-type: none"> ・外科的歯内療法 	伊藤 修一

【科目名】 歯周治療

【年次・開講期】 2年次 前期

【時間】 20時間

【単位】 1単位

【担当講師】 北海道医療大学歯学部 口腔機能修復・再建学系 高度先進保存学分野
講師 森 真理(実務経験あり)

【授業概要】 歯周治療学の基礎知識と臨床、歯科衛生業務について学ぶ。

【到達目標】

- ・正常な歯周組織の構造、各部の名称、組織学と機能について理解できる。
- ・歯肉炎、歯周炎との違いと初発因子と修飾因子について理解できる。
- ・歯周予防法と治療の進め方について基本的な考え方を説明することができる。
- ・歯周病の診査診断について判定方法の理解ができる。
- ・歯周基本治療の目的、内容、治療方法と歯科衛生士の役割を理解できる。
- ・歯周外科治療の目的と分類、適応、治療用器材器具の名称、用途の説明ができる。
- ・歯周治療としての口腔機能回復治療とメンテナンスの意義を説明できる。

【教科書】 歯科衛生学シリーズ 歯周病学
(一社)全国歯科衛生士教育協議会監修 医歯薬出版会社

【参考書】 プリント配布

【評価方法】 定期試験(前期)100%

【授業方法】 講義

【授業計画】

回	授業項目	授業内容	担当者
1	歯周治療とは 歯周組織の構造と機能	・歯周疾患の現状と治療、歴史、歯科衛生業務と歯周治療 ・正常な歯周組織の構造、機能	森 真理
2	歯周疾患の分類 病態、原因 歯周医学	・歯肉炎、歯周炎、初発因子、修飾因子(全身、局所) ・歯周病と全身の疾患とのかかわり	森 真理
3	歯周治療の進め方	・歯周疾患の予防と治療の基本 ・歯周治療の進め方	森 真理
4	歯周疾患の診査	・一般診査、歯周組織検査、咬合の診査 ・エックス線写真検査、口腔内写真検査	森 真理
5	歯周基本治療1 歯周基本治療2	・基本治療の目的 ・モチベーション、患者教育	森 真理
6	歯周基本治療3 歯周基本治療4	・口腔清掃指導(ブラッシング) ・口腔清掃指導(補助的清掃、マウスリンス)	森 真理
7	歯周基本治療5 歯周基本治療6	・スケーリング・ルートプレーニング ・歯周ポケット搔爬	森 真理
8	歯周外科治療1 歯周外科治療2	・歯周外科手術の目的、分類 ・歯周外科手術後の治療、用いる器材	森 真理
9	歯周外科治療3 歯周治療としての リハビリテーション	・根分岐部病変の治療、歯周・歯内病変の治療 ・咬合調整、矯正治療、固定法	森 真理
10	メンテナンス 歯周病学まとめ	・サポータティブセラピーの内容、リコール間隔 ・歯周治療の進め方の具体例	森 真理

【科目名】 歯科補綴

【年次・開講期】 1年次 後期

【時間】 30時間

【単位】 1単位

【担当講師】 北海道大学病院歯科診療センター 義歯補綴科
助教 小松原 浩実 歯科医師実務経験あり

【授業概要】 歯の崩壊と損失の原因とこれに起因あるいは続発する顎口腔領域の障害を学び、歯科補綴治療の果たす役割について、障害の回復と予防という2つの側面から理解する。診療補助歯科補綴治療の種類、特徴、および適応と、歯科補綴治療全体の流れについて理解し、および患者指導を行うための学理を学ぶ。
歯科補綴治療における歯科医師、歯科技工士、歯科衛生士の連携を学び、歯科衛生士の果たすべき役割とその重要性について理解する。

【到達目標】

- ・歯科補綴学についてその意義と定義について説明できる。
- ・歯の欠損に伴う口腔内の変化と問題について説明できる。
- ・補綴装置の種類と適応について説明できる。
- ・補綴歯科治療における診査診断について説明ができる。
- ・クラウン、ブリッジ、有床義歯、インプラント治療の実際について流れを説明できる。
- ・補綴治療に用いられる器材と用途の説明ができる。
- ・補綴歯科治療における歯科技工の流れを説明できる。
- ・補綴歯科臨床における歯科衛生士の役割を説明できる。

【教科書】 歯科衛生学シリーズ 咀嚼障害・咬合異常1 歯科補綴
(一社)全国歯科衛生士教育協議会監修 医歯薬出版会社

【参考書】 プリント配布

【評価方法】 定期試験(後期)100%

【授業方法】 講義

【授業計画】

回	授業項目	授業内容	担当者
1	歯科補綴治療とは	・歯科補綴学治療の定義、意義、目的、特徴および分類 ・歯科補綴学治療において歯科衛生士が果たすべき役割	小松原 浩実
2	補綴歯科治療の基礎知識	・歯列と咬合に関する基本的用語 ・顎口腔系の機能 ・咬合様式と下顎運動	小松原 浩実
3	歯の欠損に伴う障害と補綴 歯科治療	・歯の欠損に伴う口腔内の変化と諸問題 ・補綴歯科治療に伴う合併症 ・顎関節症	小松原 浩実
4	補綴装置の種類と構造1	・クラウン・ブリッジの分類と構造	小松原 浩実
5	補綴装置の種類と構造2	・全部床義歯と局部床義歯の分類と構造	小松原 浩実
6	補綴装置の種類と構造3	・部分床義歯の構成要素	小松原 浩実

回	授 業 項 目	授 業 内 容	担 当 者
7	補綴歯科治療における 検査・診断 クラウン治療の実際	・医療面接 ・口腔内の検査 ・スタディモデルによる検査 ・咬合検査と顎関節の検査 ・クラウンの治療の流れ	小松原 浩実
8	ブリッジ治療の実際	・ブリッジ治療の流れ	小松原 浩実
9	有床義歯治療の実際1	・全部床義歯治療の流れ	小松原 浩実
10	有床義歯治療の実際2 インプラント治療の実際	・部分床義歯治療の流れ ・インプラントとは ・インプラント治療の流れ ・インプラントのメンテナンス	小松原 浩実
11	補綴治療に用いられる 器材1	・切削・研磨用器材	小松原 浩実
12	補綴治療に用いられる 器材2 補綴歯科医療における 歯科技工1	・印象採得用器材 ・咬合採得用器材 ・人工歯 ・クラウン・ブリッジの製作 ・有床義歯の製作	小松原 浩実
13	補綴歯科医療における 歯科技工2 補綴歯科臨床における 歯科衛生士の役割1	・補綴装置の補修 ・検査・診断時の業務 ・クラウン・ブリッジ治療における業務(1)	小松原 浩実
14	補綴歯科臨床における 歯科衛生士の役割2	・クラウン・ブリッジ治療における業務(2) ・有床義歯治療における業務	小松原 浩実
15	補綴歯科臨床における 歯科衛生士の役割3	・患者指導の要点	小松原 浩実

【科目名】 口腔外科

【年次・開講期】 1年次 後期

【時間】 30時間

【単位】 1単位

【担当講師】 北海道大学病院 高次口腔医療センター
坂田 健一郎 歯科医師実務経験あり

【授業概要】 口腔外科領域で扱われる疾患の病態と治療法を理解し、診療の補助、手術器材の滅菌消毒、手指の消毒法について習熟する。

【到達目標】

- ・口腔領域の先天異常と発育異常について、原因、症状、治療法を説明できる。
- ・口腔領域の損傷、機能障害について理解できる。
- ・口腔粘膜疾患について原因、症状、治療法を理解できる。
- ・顎・口腔領域の炎症と嚢胞について理解できる。
- ・顎・口腔領域の腫瘍および腫瘍類似疾患の分類、原因、症状、治療法を説明できる。
- ・唾液腺疾患、口腔領域の神経疾患について原因、症状、治療法を説明できる。
- ・口腔外科における滅菌・消毒の意義を理解できる。
- ・口腔外科小手術の内容、使用器材と診療補助について理解ができる。

【教科書】 歯科衛生学シリーズ 口腔外科・歯科麻酔
(一社)全国歯科衛生士教育協議会監修 医歯薬出版会社

【参考書】 プリント配布

【評価方法】 定期試験(後期)100%

【授業方法】 講義

【授業計画】

回	授業項目	授業内容	担当者
1	顎・口腔領域の先天異常 発育異常-1	歯の発育異常 口腔軟組織の先天異常と発育異常	坂田 健一郎
2	顎・口腔領域の先天異常 発育異常-2	口唇裂・口蓋裂 顎の先天異常と発育異常	坂田 健一郎
3	顎・口腔領域の損傷および 機能障害	軟組織の損傷 歯および歯槽の外傷・顎骨骨折	坂田 健一郎
4	口腔粘膜の病変-1	水泡形成を主徴とする疾患 紅斑およびびらんを主徴とする疾患 潰瘍を主徴とする疾患 白斑を主徴とする疾患 色素沈着を主徴とする疾患	坂田 健一郎
5	口腔粘膜の病変-2	粘膜の萎縮をを主徴とする疾患 口腔の乾燥を主徴とする疾患 粘膜の出血および貧血を主徴とする疾患 その他の異常および疾患	坂田 健一郎
6	顎・口腔領域の 化膿性疾患	歯周組織の炎症 顎骨と顎骨周囲組織の炎症	坂田 健一郎
7	顎・口腔領域の 嚢胞性疾患	顎骨に発生する嚢胞 軟組織に発生する嚢胞	坂田 健一郎

回	授業項目	授業内容	担当者
8	顎・口腔領域の腫瘍および腫瘍類似疾患	菌原性腫瘍と非菌原性腫瘍 悪性腫瘍 前癌病変 腫瘍類似疾患	坂田 健一郎
9	唾液腺疾患	炎症性唾液性疾患 唾石症 唾液分泌異常 唾液腺腫瘍	坂田 健一郎
10	口腔領域の神経疾患	顎口腔の知覚神経と運動神経 神経痛と神経麻痺 神経痙攣	坂田 健一郎
11	滅菌と消毒	口腔外科における滅菌と消毒の意義 手術器材の滅菌と消毒 手指の消毒 手術野の消毒	坂田 健一郎
12	創傷の処置	創傷の治癒過程 手術の基本手技	坂田 健一郎
13	口腔外科小手術-1	消炎手術 抜歯術	坂田 健一郎
14	口腔外科小手術-2	嚢胞摘出術 歯根端切除術 良性腫瘍摘出術 歯槽骨整形術 小帯伸展術	坂田 健一郎
15	口腔外科小手術-3	外傷の処置 口腔インプラント術 まとめ	坂田 健一郎

【科目名】 歯科麻酔

【年次・開講期】 2年次 前期

【時間】 20時間

【単位】 1単位

【担当講師】 北海道大学大学院歯学研究院 口腔病態学分野 歯科麻酔学教室
教授 城戸 幹太 歯科医師実務経験あり

【授業概要】 歯科治療では疼痛に敏感な領域に対して治療が行われるため、各種の局所麻酔法が広く実施され、時には全身麻酔法も行われる。一方、歯科治療に対する恐怖、不安感に対する精神的ケアは必須で、精神鎮静法が実施されることもある。さらに疼痛や不安・恐怖をベースに発症する全身的偶発症の防止や対処が必要となる。また、社会の超高齢化に伴い、循環器疾患、脳血管疾患などを合併した、いわゆる有病者の歯科治療を安全に施行するための基礎知識の習得も今後ますます重要となってくる。本授業は、歯科衛生士として必要とされる歯科麻酔領域の事項を中心に、除痛法を始めとする各種の歯科周術期管理について習熟し、加えて歯科診療時における全身状態の把握法、さらに緊急時の対処法について理解を深める。

【到達目標】

- ・局所麻酔施行準備および施行時の補助法を説明できる。
- ・局所麻酔における全身のおよび局所的偶発症の予防法を説明できる。
- ・処置前および処置中の患者さんの全身状態把握法(血圧、脈拍数などの生命兆候、つまり、バイタルサインの把握中心)を説明できる。
- ・いわゆる有病者(高血圧、狭心症、脳卒中、誤嚥などの脳卒中後遺症など)の歯科治療時の留意点を説明できる。
- ・一次救命処置(Basic Life Support)の手技を理解し、実施できる。
- ・モニター機器を扱いバイタルサインを測定できる。

【教科書】 歯科衛生学シリーズ 口腔外科・歯科麻酔
(一社)全国歯科衛生士教育協議会監修 医歯薬出版会社

【参考書】 配布プリント

【評価方法】 定期試験(前期)90%、小テスト10%

【授業方法】 講義

【授業計画】

回	授業項目	授業内容	担当者
1	歯科局所麻酔法	・局所麻酔方法の種類と特徴、歯科局所麻酔薬の種類と特徴を理解する。 ・機材の管理と取扱いの概略を把握する。	城戸 幹太
2	全身状態の把握:バイタルサインの意味と見方	・全身状態の把握法、特にバイタルサインについて理解する。 ・歯科衛生士として行うべき役割を把握する。	城戸 幹太
3	局所麻酔と全身的偶発症	・局所麻酔時に遭遇する全身的偶発症について理解する。	城戸 幹太
4	精神鎮静法	・精神鎮静法について概略する。	城戸 幹太
5	全身麻酔法	・全身麻酔法について概略する。	城戸 幹太
6	緊急時の対処(BLS中心)	・偶発症発症時の対応(BLS、救急薬品、酸素吸入等)を理解する。 ・歯科衛生士の担う役割を理解する。	城戸 幹太
7	有病者への対応(1)	・全身疾患を有する歯科患者への対処法について説明できる。 (高血圧症、狭心症を例に)	城戸 幹太
8	有病者への対応(2)	・全身疾患を有する歯科患者への対処法について説明できる。 (脳血管障害、誤嚥を例に)	城戸 幹太
9 10	歯科におけるモニター機器取り扱いの実習	・歯科治療時および偶発症発症時のモニタリングを説明でき、モニターの基本的取り扱い方法を習得する。	城戸 幹太

【科目名】 小児歯科

【年次・開講期】 1年次 後期

【時間】 30時間

【単位】 1単位

【担当講師】 北海道医療大学歯学部口腔構造・機能発育学系 小児歯科学分野
加藤 大生 歯科医師実務経験あり

【授業概要】 小児の口腔領域の健康を維持・増進させるための健康管理、健全な顎口腔機能を育成するための理論と方法と歯科衛生士としての役割を学ぶ。

【到達目標】

- ・小児歯科の目的を説明することができる。
- ・小児の発育段階とその時期の口腔の変化を説明できる。
- ・乳歯と幼若永久歯の形態的特徴ならびにう蝕の特徴を説明できる。
- ・補綴歯科治療における診査診断について説明ができる。
- ・成人歯科と小児歯科の違いから治療時の小児への対応の理解ができる。
- ・小児の対応法の種類と要点について説明できる。
- ・小児歯科診療における診療体系と流れを理解できる。
- ・小児歯科におけるう蝕予防について理解ができる。

【教科書】 歯科衛生学シリーズ 小児歯科

(一社)全国歯科衛生士教育協議会監修 医歯薬出版会社

【参考書】 プリント配布

【評価方法】 定期試験(後期)100%

【授業方法】 講義

【授業計画】

回	授業項目	授業内容	担当者
1	小児歯科概論	ガイダンス・小児歯科学の意義・目的 小児歯科診療の流れと特徴 小児歯科診療と歯科衛生士	加藤 大生
2	心身の発達1	小児期の身体の発育	加藤 大生
3	心身の発達2	小児の精神発達	加藤 大生
4	頭部・顎顔面の発育	小児の顎・顔面・頭蓋の成長発育	加藤 大生
5	歯の発育	一般的な歯の発育 乳歯・幼若永久歯の特徴	加藤 大生
6	歯列および咬合の発育	成長発育段階・生理的歯間空隙 乳歯、混合歯列の特徴 ターミナルプレーン・第一大臼歯の萌出	加藤 大生
7	小児患者の対応法	小児の情緒発達 行動調整	加藤 大生
8	小児患者の診療方針	治療計画の立案 母親教室の必要性 リコールシステムの意義	加藤 大生

回	授業項目	授業内容	担当者
9	歯科診療における 診療補助Ⅰ	フォーハンデッドデンティストリーの基本とチェアポジション 小児歯科での麻酔法 小児歯科でのラバーダム防湿法	加藤 大生
10	歯科診療における 診療補助Ⅱ	小児の歯冠修復時の診療補助	加藤 大生
11	歯科診療における 診療補助Ⅲ	小児の歯内療法時での診療補助	加藤 大生
12	歯科診療における 診療補助Ⅳ	障害児の歯科治療における健常児との違い 障害児の歯科治療に用いる器材と用途	加藤 大生
13	歯科診療における 診療補助Ⅴ	咬合誘導の補助 保隙装置の目的と種類	加藤 大生
14	小児におけるう蝕予防Ⅰ	乳歯齲蝕の罹患状況・年次的推移・地域差・環境差 乳歯齲蝕の特徴と好発部位	加藤 大生
15	小児におけるう蝕予防Ⅱ	乳歯齲蝕の原因・プラークコントロール・フッ化物の応用 小窩裂溝填塞法の有効性 食生活指導の概略	加藤 大生

【科目名】 歯科矯正

【年次・開講期】 1年次 後期

【時間】 30時間

【単位】 1単位

【担当講師】 北海道大学大学院歯学研究院 口腔機能学分野 歯科矯正学教室
保浦 七愛 歯科医師実務経験あり

【授業概要】 歯科矯正学の意義と定義を正しく理解し、頭蓋顎顔面や歯列の成長発育、咬合に関する基礎的な知識を身につける。
不正咬合の定義、原因、さらには予防法に関する専門的な知識を身につける。
歯科矯正治療における検査、診断、治療に際しての流れと他科の関連も踏まえて理解し、同時に歯科衛生士としての役割を積極的に理解する。

【到達目標】 歯科衛生士として歯科矯正学の意義と定義を正しく理解し、歯科矯正治療に関連する基礎的知識を十分に得、将来的に患者さんにしっかりと説明ができるようになること。
歯科矯正治療における検査、診断、および治療についての具体的な内容を理解し、衛生士とどのような役割があり、また、やりがいを持ってどのように働くか考えられるようになること。

【教科書】 歯科衛生学シリーズ 咀嚼障害・咬合異常2 歯科矯正
(一社)全国歯科衛生士教育協議会監修 医歯薬出版会社

【参考書】 プリント配布

【評価方法】 定期試験(後期)100%

【授業方法】 講義

【授業計画】

回	授業項目	授業内容	担当者
1	歯科矯正学概論	・歯科矯正治療の変遷、定義、目的およびその必要性について	保浦 七愛
2	成長・発育	・身体・頭蓋・歯・歯列の成長発育について	保浦 七愛
3	咬合 1	・咬合に関する概論および正常咬合について	保浦 七愛
4	咬合 2	・不正咬合の分類、頻度、原因、予防について	保浦 七愛
5	矯正歯科診断	・矯正歯科治療における検査、評価、分析方法について	保浦 七愛
6	矯正歯科治療と力 1	・矯正力、歯の移動と組織反応について	保浦 七愛
7	矯正歯科治療と力 2	・歯の移動様式、保定について	保浦 七愛
8	矯正装置 1	・可撤式・固定式・機能的装置について	保浦 七愛
9	矯正装置 2	・拡大装置・顎外固定装置・習癖除去装置・保定装置について	保浦 七愛
10	矯正歯科治療の実際 1	・Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ級、過蓋咬合、開咬、成人矯正の治療について	保浦 七愛
11	矯正歯科治療の実際 2	・顎顔面の形態異常、歯数異常の治療 ・治療時のトラブル対応、健康保険適応の矯正治療について	保浦 七愛

回	授業項目	授業内容	担当者
12	矯正歯科治療における 歯科衛生士の役割 1	・矯正治療診断にかかわる業務 ・矯正歯科診療時の業務について	保浦 七愛
13	矯正歯科治療における 歯科衛生士の役割 2	・矯正歯科患者と口腔保健管理、口腔筋機能療法(MFT) ・器材、資料、文章の管理について	保浦 七愛
14	矯正学まとめ 1	・まとめの講義内容の復習と問題演習	保浦 七愛
15	矯正学まとめ 2	・まとめの講義内容の復習と問題演習	保浦 七愛

【科目名】 歯科予防処置Ⅰ

【年次・開講期】 1年次 前期・後期

【時間】 130時間

【単位】 4単位

【担当講師】 札幌歯科学院専門学校 歯科衛生士科
専任教員 伊勢谷亜美 歯科衛生士実務経験あり
専任教員 飯塚 貴子 歯科衛生士実務経験あり
専任教員 佐藤とも子 歯科衛生士実務経験あり

【授業概要】 歯周病を予防し、人々の歯・口腔の健康を維持・増進させるために専門的な知識、技能、態度を修得し、その概要について学ぶ。

【到達目標】

- ・健康な歯の構造や歯周組織などの基礎知識を学び、予防的歯石除去に使用する器具の名称、構造について基本的取り扱い方法を理解できる。
- ・術者、患者のポジションを理解し、部位に合わせ設定できる。
- ・模型上で正しいスクレーリングができる。
- ・シャープニングの目的や砥石の種類を把握し、スクレーラーのシャープニング方法を身につける。
- ・プロービングの目的、種類、測定方法、測定結果の記入方法を理解し、プロービング値を正確に読み取ることができる。
- ・歯科治療における偶発事故の原因、予防、対策、対処方法を理解できる。
- ・歯面研磨の目的、使用器材の用途、取り扱い方法を理解し、正しい操作ができる。
- ・歯面清掃器の目的、使用器材の用途、取り扱い方法を理解し、正しい操作ができる。
- ・超音波スクレーラー、の特徴を理解し、正しい角度とストロークで操作できる。
- ・模型上で基礎実習を活かし、実際の口腔内で予防処置を行うことができる。

【教科書】 歯科衛生学シリーズ 歯科予防処置論・歯科保健指導論
(一社)全国歯科衛生士教育協議会監修 医歯薬出版株式会社

【参考書】 歯科衛生学シリーズ 歯周病学 (一社)全国歯科衛生士教育協議会 医歯薬出版

【評価方法】 出席状況・授業態度10% 実技試験10% 定期試験80%

【授業方法】 講義・実習

【授業計画】

回	授業項目	授業内容	担当者
1	歯科予防処置論の概要	・歯科衛生士の3大業務 ・歯科予防処置の定義 ・歯、歯周組織の構造と名称	伊勢谷 亜美
2	口腔の基礎知識	口腔の基礎知識1 ・確認小テスト	伊勢谷 亜美
3	口腔の基礎知識	口腔の基礎知識2 ・確認小テスト	伊勢谷 亜美
4	う蝕と歯周病の基礎知識	口腔内の付着物・沈着物1 演習:ペンシルトレーニング	伊勢谷 亜美
5	う蝕と歯周病の基礎知識	口腔内の付着物・沈着物2 演習:ペンシルトレーニング	伊勢谷 亜美
6	歯科衛生介入	スクレーリング・ルートプレーニング1 ・使用器材 ・基本設定	伊勢谷 亜美

回	授業項目	授業内容	担当者
7	う蝕と歯周病の 基礎知識	齶蝕 ・齶蝕とは ・齶蝕の分類・原因 演習: ペンシルトレーニング 探針操作実習	伊勢谷 亜美
8	う蝕と歯周病の 基礎知識	歯周病の概要 確認小テスト 演習: ブローブ操作	伊勢谷 亜美
9	歯科衛生介入	スケーリング基礎実習 ・把持法、固定、操作方法	伊勢谷 亜美
10	歯科衛生介入	スケーリング基礎実習1 ・前腕回転運動 ・手根関節運動	伊勢谷 亜美
11	歯科衛生介入	スケーリング基礎実習2 ・前腕回転運動 ・手根関節運動	伊勢谷 亜美
12	歯科衛生介入	・ミラー操作 確認小テスト	伊勢谷 亜美
13	歯科衛生介入 部位別スケーリング シッケルタイプ	・マネキンの取り扱い ・マキシラアングル、ヘッドローテーション・術者ポジション ・上顎前歯唇側面	飯塚 貴子
14	歯科衛生介入 部位別スケーリング シッケルタイプ	マネキン実習 ・上顎前歯唇側面 ・上顎前歯舌側面	飯塚 貴子
15	歯科衛生介入 部位別スケーリング シッケルタイプ	マネキン実習 ・下顎前歯部唇側面	飯塚 貴子
16	歯科衛生介入 部位別スケーリング シッケルタイプ	マネキン実習 ・上顎前歯部	飯塚 貴子
17	口腔の基礎知識	復習 知識生理	飯塚 貴子
18	口腔の基礎知識 部位別スケーリング	復習 マネキン実習 ・上下顎前歯部(人工歯石の除去)	飯塚 貴子
19	歯科衛生介入 部位別スケーリング シッケルタイプ	マネキン実習 ・下顎左側臼歯部 頬側面	飯塚 貴子
20	歯科衛生介入 部位別スケーリング シッケルタイプ	マネキン実習 ・下顎左側臼歯部 舌側面 ・下顎右下臼歯部 頬側面・舌側面	飯塚 貴子
21	歯科衛生介入 部位別スケーリング シッケルタイプ	マネキン実習 ・下顎全顎	飯塚 貴子
22	歯科衛生介入 部位別スケーリング シッケルタイプ	マネキン実習 ・上顎前歯部、左上臼歯部 頬側面 確認小テスト	飯塚 貴子
23	歯科衛生介入 部位別スケーリング シッケルタイプ	マネキン実習 ・上顎前歯部、右上臼歯部 口蓋側	飯塚 貴子
24	歯科衛生介入 部位別スケーリング シッケルタイプ	マネキン実習 ・上顎左側臼歯部 頬側面・舌側面 確認小テスト	伊勢谷 亜美
25	歯科衛生介入 部位別スケーリング シッケルタイプ	マネキン実習 ・上顎全顎	伊勢谷 亜美
26	歯科衛生介入 部位別スケーリング シッケルタイプ	マネキン実習 ・下顎全顎	伊勢谷 亜美

回	授業項目	授業内容	担当者
27	シッケルタイプ スケーラー実技試験	・マネキンを使用し与えられた部位を原則に従い正確に操作する	伊勢谷 亜美
28	歯科衛生アセスメント	エクスプローリング実習 ・エクスプローラーの種類と目的 ・基本操作	伊勢谷 亜美
29	歯科衛生アセスメント	歯周ポケット検査 ・歯周プローブの種類と目的 ・プロービングの操作方法	伊勢谷 亜美
30	歯科衛生アセスメント	歯周プローブ マネキン実習 ・読み取り方法 ・4点法、6点法	伊勢谷 亜美
31	歯科衛生アセスメント	歯周プローブ マネキン実習 ・読み取り ・6点法の記入 根分岐部の検査法 動揺度の検査法	伊勢谷 亜美
32	歯科衛生アセスメント	口臭 ・国際分類 ・口臭検査 歯式の書き方	伊勢谷 亜美
33	シッケルスケーラー シャープニング	シャープニングについて ・シャープナーによるシャープニング #6-7 歯の鑑別復習	伊勢谷 亜美
34	シッケルスケーラー シャープニング	シャープニングについて ・シャープナーによるシャープニング #6-7	伊勢谷 亜美
35	歯科衛生介入 キュレットタイプ	キュレットスケーラー ・形態と特徴 ・使用部位と適応	伊勢谷 亜美
36	歯科衛生介入 キュレットタイプ	確認小テスト マネキン実習 ・下顎前歯部 ①エクスプローリング	伊勢谷 亜美
37	歯科衛生介入 キュレットタイプ	マネキン実習 ・下顎前歯部 ①エクスプローリング ②スケーリング ③バキューム操	伊勢谷 亜美
38	歯科衛生介入 キュレットタイプ	マネキン実習 ・下顎右側臼歯部①エクスプローリング ②スケーリング ③バキューム操	伊勢谷 亜美
39	歯科衛生介入 キュレットタイプ	マネキン実習 ・上顎右側臼歯部①エクスプローリング ②スケーリング ③バキューム操	伊勢谷 亜美
40	歯科衛生介入 キュレットタイプ	マネキン実習 ・下顎左側臼歯部①エクスプローリング ②スケーリング ③バキューム操	伊勢谷 亜美
41	歯科衛生介入 キュレットタイプ	マネキン実習 ・上顎左側臼歯部①エクスプローリング ②スケーリング ③バキューム操	伊勢谷 亜美
42 ・ 43	相互実習	口腔内観察実習 ・口腔内洗浄 ・歯の観察	伊勢谷 亜美
44	シッケルスケーラー シャープニング	・ハンドによるシャープニング	佐藤 さと子
45	パワースケーラー 超音波スケーラー	超音波スケーラーの種類と特徴	伊勢谷 亜美
46	スケーリング前の 術前準備	器材の滅菌 実習前整備	伊勢谷 亜美

回	授業項目	授業内容	担当者
47	スケーリング前の 術前準備	スケーリングの流れ ・偶発事故と予防・対策について	伊勢谷 亜美
48	パワースケーラー 超音波スケーラー	・マネキン実習	伊勢谷 亜美
49	シッケルスケーラー シャープニング	・ハンドによるシャープニング	佐藤 とも子
50	相互実習事前練習 I	・ブローピング ・染色・貼薬練習	佐藤 とも子
51 ・ 52	相互実習	口腔内観察 ・ブローピング	佐藤 とも子
53	歯面研磨	歯面研磨の目的 使用機材	伊勢谷 亜美
54	歯面研磨	マネキン実習 ・上顎	伊勢谷 亜美
55	歯面研磨	マネキン実習 ・下顎	伊勢谷 亜美
56	総合実習1	マネキン実習 前歯部	伊勢谷 亜美
57	総合実習2	・マネキン実習 左側上下	伊勢谷 亜美
58	総合実習3	・マネキン実習 ・右側上下	伊勢谷 亜美
59	まとめ・復習	・1年間のまとめ	伊勢谷 亜美
60	まとめ・復習	・1年間のまとめ	伊勢谷 亜美
61	まとめ・復習	・1年間のまとめ	伊勢谷 亜美
62	まとめ・復習	・1年間のまとめ	伊勢谷 亜美
63	予防処置総合実習 マネキン実習	・スケーリング(超音波スケーラー、手用スケーラー) ・歯面研磨	伊勢谷 亜美
64	予防処置総合実習 マネキン実習	・スケーリング(超音波スケーラー、手用スケーラー) ・歯面研磨	伊勢谷 亜美
65	試験対策	・定期試験範囲を確認し、要点を整理する	伊勢谷 亜美

【科目名】 歯科予防処置Ⅱ

【年次・開講期】 2年次 前期・後期

【時間】 70時間

【単位】 2単位

【担当講師】 札幌歯科学院専門学校 歯科衛生士科
専任教員 伊勢谷亜美 歯科衛生士実務経験あり
専任教員 溝口 範子 歯科衛生士実務経験あり
専任教員 市川 智恵 歯科衛生士実務経験あり

【授業概要】 歯科予防処置Ⅰで習得した知識、技術を実際に相互実習・臨床実習で体験し、学ぶ。
また、歯周病の継続管理とう蝕予防の方法についても学習する。

【到達目標】

- ・マネキン実習で習得した注意点に留意し手用スケーラーでのスケーリングができる。
- ・パワースケーラーの操作圧に留意し、正しい角度とストロークで操作できる。
- ・パワースケーラー使用時の音、振動、水に対する説明、配慮ができる。
- ・キュレットスケーラーのシャープニングができる。
- ・口腔内の状態に合わせて器具・研磨剤が選択できる。
- ・歯面研磨操作時の注意点を理解し、正しく操作できる。
- ・PMTCの使用目的・器材を理解し、正しい操作ができる。
- ・フッ化物の齲蝕予防機序を説明できる。
- ・フッ化物局所応用の手順を理解できる。
- ・フッ化物応用における小児の急性中毒量を計算できる。
- ・齲蝕活動性試験を説明できる。
- ・小窩裂溝填塞法の適応症を説明できる。
- ・小窩裂溝填塞法の手順を理解できる。
- ・フッ化ジアンミン銀の目的が説明できる。
- ・実際の患者に予防の大切さを説明できる。

【教科書】 歯科衛生学シリーズ 歯科予防処置論・歯科保健指導論
歯科衛生学シリーズ 歯周病学
(一社)全国歯科衛生士教育協議会監修 医歯薬出版株式会社
歯科衛生士のための齲蝕予防処置法 第2版 医歯薬出版株式会社

【参考書】 配布プリント

【評価方法】 出席状況・授業態度10% 定期試験(後期)90%

【授業方法】 講義・実習

【授業計画】

回	授業項目	授業内容	担当者
1	PMTC	PMTC 講義 歯と歯周組織構造の復習	伊勢谷亜美
2	PMTC マネキン実習	エバコントラでのマネキン実習	伊勢谷亜美
3	キュレットタイプスケーラー 復習Ⅰ	マネキンにて操作の練習(6ブロックに分けて実施) ・上顎前歯部、左上臼歯部、右上臼歯部	伊勢谷亜美
4	キュレットタイプスケーラー 復習Ⅱ	マネキンにて操作の練習(6ブロックに分けて実施) ・下顎前歯部、左下臼歯部、右下臼歯部	伊勢谷亜美

回	授業項目	授業内容	担当者
5	口腔機能的問題の把握	・観察による評価(TCI) ・咀嚼機能の評価	伊勢谷亜美
6	口腔機能的問題の把握	・嚥下機能評価(RSST・口腔湿潤度・舌圧)	伊勢谷亜美
7	シャープニング実習	・キュレットスケーラーのシャープニング	伊勢谷亜美
8	パワースケーリング	・エアースケーラー実習1	伊勢谷亜美
9	パワースケーリング	・エアースケーラー実習2	伊勢谷亜美
10	う蝕予防処置実習	基礎実習 ・唾液の消化作用の確認 ・スクロースと代用甘味料の理解実習	市川 智恵
11	う蝕予防処置実習	フッ化物局所応用法に用いられるフッ化物溶液作製実習 フッ化物溶液の味の確認	市川 智恵
12	う蝕予防処置実習	フッ化物局所応用法に用いられるフッ化物とその特徴	市川 智恵
13	う蝕予防処置実習	フッ化物応用の種類 フッ化物の中毒、悪心・嘔吐発現量	市川 智恵
14	う蝕予防処置実習	綿球・綿棒に含まれる溶液量 綿球中のフッ素量の確認 イオントレーに含まれる溶液量の確認	市川 智恵
15・ 16	う蝕予防処置実習	フッ化物局所応用法相互実習	市川 智恵
17	う蝕予防処置実習	小窩裂溝填塞法の基礎知識 歯の脱灰確認実習/マネキン実習	市川 智恵
18・ 19	う蝕予防処置実習	小窩裂溝填塞法相互実習	市川 智恵
20	う蝕予防処置実習	齲蝕活動性試験の実際	市川 智恵
21	う蝕予防処置実習	フッ化ジアンミン銀の趣旨及び布への着色・脱灰実習	市川 智恵
22	う蝕予防処置実習	う蝕抑制効果とスクリーニング指標算出	市川 智恵
23	う蝕予防処置実習	う蝕予防処置法の臨床	市川 智恵
24	う蝕予防処置実習	集団応用の考え方	市川 智恵
25	歯面清掃器	・歯面清掃器(エアフロー)基礎実習1	溝口 範子
26	歯面清掃器	・歯面清掃器(エアフロー)基礎実習2	溝口 範子
27・ 28	相互実習 I	・口腔内診査、スケーリング ・歯面研磨	溝口 範子

回	授業項目	授業内容	担当者
29・30	相互実習Ⅱ	・口腔内診査、スケーリング ・歯面研磨	溝口 範子
31	知識生理①	外来実習 媒体作成1	溝口 範子
32	知識生理②	外来実習 媒体作成2	溝口 範子
33	知識生理③	外来実習 媒体作成3	溝口 範子
34	知識生理④	外来実習 媒体作成4	溝口 範子
35	まとめ	歯科衛生過程 書面化	溝口 範子

【科目名】 歯科予防処置Ⅲ

【年次・開講期】 3年次 前期・後期

【時間】 44時間

【単位】 1単位

【担当講師】 札幌歯科学院専門学校 歯科衛生士科
専任教員 飯塚 貴子 歯科衛生士実務経験あり
専任教員 伊勢谷亜美 歯科衛生士実務経験あり

【授業概要】 歯科予防処置の目的や意義を理解し、臨床で応用できる力を身に付ける。
また、国家試験出題基準に沿った問題が解けるよう考え方を整理する。

【到達目標】 ・障害児の保護者に対してフッ化物歯面塗布の目的や手順を説明できる。
・障害をもつ幼児のフッ化物歯面塗布が行える。
・模擬試験において歯科予防処置の出題基準別問題が解ける。

【教科書】 歯科衛生学シリーズ 歯科予防処置論・歯科保健指導論
歯科衛生学シリーズ 歯周病学
(一社)全国歯科衛生士教育協議会監修 医歯薬出版株式会社
歯科衛生士のための齲蝕予防処置法 第2版 医歯薬出版株式会社

【参考書】 口腔衛生学 第4版 学健書院

【評価方法】 定期試験(後期)100%

【授業方法】 講義・実習

【授業計画】

回	授業項目	授業内容	担当者
1	知識整理①	模擬試験問題の解説とまとめ	飯塚 貴子
2	知識整理②	模擬試験問題の解説とまとめ	伊勢谷 亜美
3	知識整理③	模擬試験問題の解説とまとめ	飯塚 貴子
4	知識整理④	模擬試験問題の解説とまとめ	伊勢谷 亜美
5	知識整理⑤	模擬試験問題の解説とまとめ	飯塚 貴子
6	歯科衛生介入 スケーラー操作実習①	各種スケーラーを使用して歯石除去を行う。 ・マネキン実習(前歯部)	飯塚 貴子
7	歯科衛生介入 スケーラー操作実習②	各種スケーラーを使用して歯石除去を行う。 ・マネキン実習(左側臼歯部)	飯塚 貴子
8	歯科衛生介入 スケーラー操作実習③	各種スケーラーを使用して歯石除去を行う。 ・マネキン実習(右側臼歯部)	飯塚 貴子
9	知識整理⑥	模擬試験問題の解説とまとめ	伊勢谷 亜美
10	知識整理⑦	模擬試験問題の解説とまとめ	飯塚 貴子
11	歯科衛生過程 書面化	業務記録作成手順	飯塚 貴子
12	歯科衛生過程 書面化	業務記録作成手順	飯塚 貴子

回	授業項目	授業内容	担当者
13	配慮を必要とする者への 歯科衛生介入	障がい児へのう蝕予防処置 ・障がい者の歯科的特徴の復習	飯塚 貴子
14	配慮を必要とする者への 歯科衛生介入	障がい児へのう蝕予防処置 ・障がい者の歯科的特徴の復習	飯塚 貴子
15	配慮を必要とする者への 歯科衛生介入	障がい児へのう蝕予防処置 ・障がい者の歯科的特徴の復習	飯塚 貴子
16	配慮を必要とする者への 歯科衛生介入	障がい児へのう蝕予防処置 ・フッ化物歯面塗布実習1	飯塚 貴子
17	配慮を必要とする者への 歯科衛生介入	障がい児へのう蝕予防処置 ・フッ化物歯面塗布実習2	飯塚 貴子
18	知識整理⑧	模擬試験問題の解説とまとめ	飯塚 貴子
19	知識整理⑨	模擬試験問題の解説とまとめ	飯塚 貴子
20	知識整理⑩	模擬試験問題の解説とまとめ	飯塚 貴子
21	知識整理⑫	模擬試験問題の解説とまとめ	飯塚 貴子
22	知識整理⑬	模擬試験問題の解説とまとめ	飯塚 貴子

【科目名】 う蝕予防処置

【年次・開講期】 2年次 前期

【時間】 20時間

【単位】 1単位

【担当講師】 北海道大学大学院歯学研究院 口腔健康科学分野
助教 竹原 順次 歯科医師実務経験あり

【授業概要】 歯科予防処置は歯科衛生士の大切な業務の1つである。
ここでは特に齲蝕予防処置に必要な専門的な知識について学び、理解する。

【到達目標】

- ・う蝕予防処置に関連する生活習慣の把握方法と項目を説明できる。
- ・う蝕と全身疾患の関連を説明できる。
- ・う蝕予防処置の臨床的効果、作用機序、安全性、および便宜性を説明できる。
- ・う蝕リスク判断のために行う、う蝕活動性試験の目的と種類を説明できる。

【教科書】 歯科衛生士のための齲蝕予防処置法 第2版 医歯薬出版株式会社

【評価方法】 定期試験(前期)100%

【授業方法】 講義・実習

【授業計画】

回	授業項目	授業内容	担当者
1	I 総説編 第1章 齲蝕予防処置法 序説	・予防の3相5段階 ・齲蝕予防処置とは ・齲蝕予防処置法における歯科衛生士の役割	竹原 順次
2	第2章 齲蝕の知識	・口腔の基礎知識 ・齲蝕とは	竹原 順次
3	第2章 齲蝕の知識	・プラークと齲蝕 ・代用甘味料と齲蝕 ・齲蝕の早期(初期)診断の意義	竹原 順次
4	第3章 歯および唾液と フッ化物応用の知識	・歯およびエナメル質表層の知識 ・唾液の知識 ・ppmとは	竹原 順次
5	第3章 歯および唾液と フッ化物応用の知識	・フッ化物の応用の知識	竹原 順次
6	第4章 齲蝕活動性試験	・齲蝕活動性試験とは ・齲蝕活動性試験の種類 ・齲蝕活動性試験の有用性	竹原 順次
7	第5章 齲蝕抑制効果の 評価およびスクリーニング 手法	・齲蝕抑制効果評価法 ・スクリーニングテスト ・オッズ比と相対危険度	竹原 順次
8	II 実習編 第1章 齲蝕予防処置法 のアウトライン	・齲蝕予防処置法を学ぶにあたっての基礎知識 (フッ化物局所応用)	竹原 順次
9	第1章 齲蝕予防処置法 のアウトライン	・フッ化ジアンミン銀の応用 ・小窩裂溝填塞法の応用 ・各種薬物の応用によるプラークの除去	竹原 順次
10	III 集団応用編 第1章 齲蝕予防処置集 団応用の考え方	・公衆衛生活動としての齲蝕予防処置集団応用 ・集団応用の特徴、場面、計画、準備 ・フッ化物洗口法	竹原 順次

【科目名】 歯科保健指導Ⅰ

【年次・開講期】 1年次 前期・後期

【時間】 90時間

【単位】 2単位

【担当講師】 札幌歯科学院専門学校 歯科衛生士科
専任教員 佐藤とも子 歯科衛生士実務経験あり
市川 智恵 歯科衛生士実務経験あり
溝口 範子 歯科衛生士実務経験あり
有限会社 Aiエクセレント
代表取締役 高野 文子 歯科衛生士実務経験あり

【授業概要】 歯科衛生士業務の1つである、歯科保健指導の意義や口腔の健康を保つ為の基本的な手技コミュニケーションの難しさ、おもしろさを伝えることで、意識してコミュニケーションをとることの重要性を伝える。また、傾聴、共感、質問ができるように、コーチングなどのコミュニケーションスキルを教授する。

【到達目標】

- ・健康、予防の概念を述べることができる。
- ・歯科保健指導に必要な行動変容要素を理解する。
- ・食生活指導の基本事項を理解する。
- ・口腔清掃に必要な器材・方法を理解する。
- ・歯科衛生過程の概要を理解する。
- ・歯科衛生アセスメントのための情報収集を理解する。
- ・喫煙者に対する指導の基礎知識を理解する。
- ・口腔内の軟組織、硬組織の構造と名称を一致させることができる。
- ・歯垢、歯石を観察することができる。
- ・常に相手の思いと自分の思いを考え、必要なコミュニケーションスキルを使って、円滑なコミュニケーションがとれるようになる。

【教科書】 歯科衛生学シリーズ 歯科予防処置論・歯科保健指導論
(一社)全国歯科衛生士教育協議会監修 医歯薬出版株式会社
配布プリント

【参考書】 「歯ブラシ事典」 医歯薬出版株式会社
「歯磨剤の科学」 日本歯磨工業会

【評価方法】 レポート提出10%、実技試験10%、定期試験80%

【授業方法】 講義・実習

【授業計画】

回	授業項目	授業内容	担当者
1	歯科保健指導論の概要	歯科保健指導で学ぶこと 健康の概念 予防の概念	市川 智恵
2	歯科保健指導実施のための基礎知識	口腔の基礎知識 ・口腔、口腔周囲の構造 ・歯周組織	市川 智恵
3	歯科保健指導実施のための基礎知識	食生活指導のための基礎知識 ・国民の健康と栄養の現状 ・栄養素の役割 ・栄養素の働き ・栄養素の消化吸収	佐藤とも子

回	授業項目	授業内容	担当者
4	歯科保健指導の基礎知識	食生活指導のための基礎知識 ・食事摂取基準 ・食品とう蝕誘発性	佐藤とも子
5	歯科保健指導の基礎知識	食生活指導のための基礎知識 ・歯周病と食生活 ・酸蝕症と食生活	佐藤とも子
6	歯科保健指導の基礎知識	食生活指導のための基礎知識 ・酸蝕症と食生活 ・酸蝕症と食生活	佐藤とも子
7	歯科保健指導の基礎知識	食生活指導のための基礎知識 ・咀嚼と食品 ・特別用途食品と保健機能食品	佐藤とも子
8	歯科保健指導の基礎知識	保健行動支援のための基礎知識 ・保健行動に関連する理論	市川 智恵
9	歯科保健指導の基礎知識 歯科保健指導各論	保健行動支援のための基礎知識 ・保健行動を促す理論の実践 歯科衛生過程の進め方	市川 智恵
10	歯科衛生介入としての 歯科保健指導	口腔衛生管理にかかわる指導 ・ブラッシング	佐藤とも子
11	歯科衛生アセスメントとしての 情報収集と情報整理	患者からの情報収集 ・主観的情報の把握 ・主訴、既往歴、家族歴他	佐藤とも子
12	歯科衛生アセスメントとしての 情報収集と情報整理	患者からの情報収集 ・医療面接 ・医療面接の実際	佐藤とも子
13	歯科衛生アセスメントとしての 情報収集と情報整理	患者からの情報収集 ・全身の健康状態の把握 ・全身の健康状態の把握認知機能の把握 ・生活環境と生活背景の把握 ・生活習慣の把握	佐藤とも子
14	歯科衛生アセスメントとしての 情報収集と情報整理	患者からの情報収集 ・口腔の器質的問題の把握 ・歯、歯肉	佐藤とも子
15	歯科衛生アセスメントとしての 情報収集と情報整理	患者からの情報収集 ・分析のためのデータ ・歯の汚れを見る指数	佐藤とも子
16	歯科衛生アセスメントとしての 情報収集と情報整理	患者からの情報収集 ・分析のためのデータ ・歯周疾患の指数	佐藤とも子
17	歯科衛生介入としての 歯科保健指導	口腔衛生管理に関わる指導 ・歯磨剤	佐藤とも子
18	歯科衛生介入としての 歯科保健指導	口腔衛生管理に関わる指導 ・その他の清掃方法 / 脇腹を使ったブラッシング法	佐藤とも子
19	歯科衛生介入としての 歯科保健指導	口腔衛生管理に関わる指導 ・その他の清掃方法	佐藤とも子
20	歯科衛生介入としての 歯科保健指導	口腔衛生管理に関わる指導 ・まとめ	佐藤とも子
21	歯科衛生介入としての 歯科保健指導	口腔衛生管理に関わる指導 ・模型上での清掃方法	佐藤とも子
22	歯科衛生介入としての 歯科保健指導	口腔衛生管理に関わる指導 ・OHI、PCRの復習	佐藤とも子
23	歯科衛生介入としての 歯科保健指導	生活習慣の指導 ・非感染性疾患(NCDs)	市川 智恵
24	歯科衛生介入としての 歯科保健指導	生活習慣の指導 ・喫煙者に対する指導	市川 智恵

回	授業項目	授業内容	担当者
25	歯科衛生アセスメントとしての情報収集と情報整理	・指標 ・歯周疾患の指数	市川 智恵
26	プレテスト	・ブラッシングテクニック	溝口 範子
27	テスト 実技試験	・ブラッシングテクニック	溝口 範子
28	歯科衛生アセスメント	・口腔観察要領	溝口 範子
29	知識生理	・口腔衛生 復習	溝口 範子
30	知識生理	・口腔清掃 復習	市川 智恵
31	相互実習	・口腔内観察	市川 智恵
32		・口腔内染色	
33	歯科衛生過程	・歯科衛生アセスメントの復習	市川 智恵
34	知識生理	まとめ	市川 智恵
35	知識生理	まとめ 試験対策	市川 智恵

【授業計画】

回	授業項目	授業内容	担当者
1	コミュニケーションの目的	・コミュニケーションの目的 ・自分を守るためのコミュニケーション ・話すだけでは伝わらない ・どんな人の話を聞きたいのか ・言葉のキャッチボール ・前提となる姿勢	高野 文子
2	自分と相手の心理を理解する	・自分の思いを知る ・相手の思いを想像する ・不安を取り除く ・初対面コミュニケーション	高野 文子
3	聴く力を高める	・コーチングの傾聴スキル ・傾聴のポイント ・コーチングの承認のスキル(存在承認、成長承認、成果承認) ・メッセージによる伝え方	高野 文子
4	第一印象を高める	・五秒の礼節 ・人は五感で情報を得る ・よい第一印象の作り方 ・相手を尊ぶあいさつ ・あいさつは何のためにするのか ・あいさつの基本 ・表情、視線、声かけ ・自分を整える、信頼感を得る身だしなみ	高野 文子
5	信頼感を高める	・相手を尊ぶ姿勢、態度、所作 ・立礼、お辞儀の種類と仕方 ・自分の立場を知る ・立ち方、座り方 ・入退室の仕方 ・物の受け渡し方	高野 文子

回	授業項目	授業内容	担当者
6	伝える力を養う	<ul style="list-style-type: none"> ・正しい敬語表現 ・TPOに合わせた言葉遣い ・感じのよい話し方 ・伝える力 ・婉曲(えんきょく)表現、クッション言葉 	高野 文子
7	コミュニケーションの面白さ	<ul style="list-style-type: none"> ・正確に伝える難しさ ・ミスコミュニケーションの原因 ・ミスコミュニケーションの防止 ・エンパシーの姿勢 ・シンパシーの姿勢 	高野 文子
8	人間関係が楽になる方法	<ul style="list-style-type: none"> ・人間関係がつかなくなる理由 ・心はどうやってつくられるのか ・思い込みとは何か ・無意識の領域 ・コミュニケーションとパターン ・コミュニケーションの重要性 	高野 文子
9	苦手な人とのコミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ・苦手意識のメカニズム ・興味深い対象として見る ・相手との関係性を再確認する ・関係性をよくする必要性は何か ・相手を変えようとするな ・相手のシステムを知る(行動パターン) ・肯定的意図 	高野 文子
10	なりたい自分になる	<ul style="list-style-type: none"> ・スタートアップ・ワーク ・自分の価値基準と優先順位を知る ・思い込みの種類 ・マイナスの思い込み ・思い込みを変える方法 	高野 文子

【科目名】 歯科保健指導Ⅱ**【年次・開講期】** 2年次 前期・後期**【時間】** 44時間**【単位】** 1単位**【担当講師】** 札幌歯科学院専門学校 歯科衛生士科
専任教員 土門 京子 歯科衛生士実務経験あり
専任教員 市川 智恵 歯科衛生士実務経験あり**【授業概要】** 各ライフステージごとの歯科保健指導について学習する。また、各ライフステージにおいて歯科保健指導を実践する。**【到達目標】**

- ・口腔内観察ができる
- ・妊産婦期における一般的特徴、口腔の特徴、望ましい歯科保健行動を説明できる。
- ・幼児期における一般的特徴、口腔の特徴、望ましい歯科保健行動を説明できる。
- ・学齢期における一般的特徴、口腔の特徴、望ましい歯科保健行動を説明できる。
- ・青年期における一般的特徴、口腔の特徴、望ましい歯科保健行動を説明できる。
- ・成人期における一般的特徴、口腔の特徴、望ましい歯科保健行動を説明できる。
- ・成人期における歯科保健指導(ワンポイント指導法)を身に付ける。
- ・高齢期における一般的特徴、口腔の特徴、望ましい歯科保健行動を説明できる。
- ・地域歯科保健指導における健康教育や保健指導の概要を説明できる。
- ・地域歯科保健事業における歯科衛生士の役割を説明できる。
- ・歯科衛生アセスメントを実践し、歯科衛生診断および計画立案ができる。

【教科書】 歯科衛生学シリーズ 歯科予防処置論・歯科保健指導論
(一社)全国歯科衛生士教育協議会監修 医歯薬出版株式会社**【参考書】** 配布プリント**【評価方法】** 定期試験(後期)100%**【授業方法】** 講義・実習**【授業計画】**

回	授業項目	授業内容	担当者
1 2	歯科健診	・口腔内アセスメント:相互実習	土門 京子
3	ライフステージに対応した 歯科衛生介入1	・ライフステージとは ・妊産婦期	土門 京子
4	ライフステージにおける 歯科衛生介入2	・妊産婦期 ・乳幼児期	土門 京子
5	ライフステージに対応した 歯科衛生介入2	・青年期	土門 京子
6	青年期における歯科保健 指導1	・技工士科1年を対象にした歯科保健指導 う蝕活動性試験について 口腔観察についてとTBIの復習 歯科衛生アセスメントの演習	土門 京子
			土門 京子
7	青年期における歯科保健 指導2	・技工士科1年を対象にした歯科保健指導 歯科保健指導の実践	土門 京子

回	授 業 項 目	授 業 内 容	担 当 者
8	ライフステージにおける 歯科衛生介入2	・学齢期	土門 京子
9	地域歯科保健活動1 学校歯科保健指導	・集団指導:小学校の歯科保健について1	土門 京子
10	地域歯科保健活動2 学校歯科保健指導	・集団指導:小学校の歯科保健について2 振り返り	土門 京子
11	ライフステージにおける 歯科衛生介入3	・老年期	土門 京子
12	ライフステージにおける 歯科衛生介入4	・老年期	土門 京子
13	地域歯科保健活動3 高齢者施設	・集団指導について 口腔機能向上にむけての媒体作成	土門 京子
14	ライフステージにおける 歯科衛生介入5	・成人期	土門 京子
15	ライフステージにおける 歯科衛生介入6	・成人期	土門 京子
16	歯科衛生過程1	・歯科衛生診断について1 ①情報の統合 ②歯科衛生診断のタイプ	市川 智恵
17	歯科衛生過程2	・歯科衛生診断について2 ③歯科衛生診断文の作成 ④優先順位の決定	市川 智恵
18	歯科衛生過程3	・歯科衛生計画の立案1 ①目標の設定	市川 智恵
19	歯科衛生過程4	・歯科衛生計画の立案2 ②計画の立案	市川 智恵
20 21	相互実習	・口腔内観察実習 ・ワンポイント指導の実践	市川 智恵
22	歯科衛生過程	・まとめ	市川 智恵

【科目名】 歯科保健指導Ⅲ

【年次・開講期】 3年次 前期・後期

【時間】 44時間

【単位】 1単位

【担当講師】 岩寺小児歯科医院
院長 岩寺 環司 歯科医師実務経験あり
札幌歯科学院専門学校 歯科衛生士科
専任教員 佐藤 とも子 歯科衛生士実未経験あり
専任教員 溝口 範子 歯科衛生士実務経験あり

【授業概要】 歯科保健指導の意義と内容を理解し、それぞれの症例に必要な実技とコミュニケーション能力を習得していく。

【到達目標】

- ・口腔内の状態を正確に観察することができる。
- ・患者から得た情報をもとに、問題点を抽出、把握することができる。
- ・患者の状況を分析し、歯科衛生介入ができる。
- ・歯科衛生介入について、業務記録に記録できる。
- ・配慮を要する者への歯科衛生介入を行うことができる。
- ・小児の口腔保健管理について理解する。
- ・小児への歯科衛生介入を理解する。
- ・模擬試験において歯科保健指導の出題基準問題が解ける。

【教科書】 歯科衛生学シリーズ 歯科予防処置論・歯科保健指導論
(一社)全国歯科衛生士教育協議会監修 医歯薬出版株式会社

【参考書】 「新歯ブラシ事典」 医歯薬出版株式会社
「歯磨剤の科学」 日本歯磨工業会

【評価方法】 定期試験(後期)100%

【授業方法】 講義・実習

【授業計画】

回	授業項目	授業内容	担当者
1	臨床における 歯科衛生活動	・小児歯科診療室における、母親教室 ・飲食品の砂糖含有量、フッ素の効果、 ・歯ブラシの硬さと歯磨きのタイミング	岩寺 環司
2	口腔内の情報収集	相互歯科健診 ・口腔内観察/プロービング	佐藤 とも子
3	知識生理①	模擬試験問題の解説とまとめ	佐藤 とも子
4	知識生理②	模擬試験問題の解説とまとめ	佐藤 とも子
5	知識生理③	模擬試験問題の解説とまとめ	佐藤 とも子
6	症例検討・ 歯科保健指導法①	・歯科保健指導とは ・問題点の発見、把握	溝口 範子
7	症例検討・ 歯科保健指導法②	・指導案の立案 ・指導媒体の作成	溝口 範子
8	症例検討・ 歯科保健指導法③	・指導媒体の作成	溝口 範子

回	授 業 項 目	授 業 内 容	担 当 者
9	業務記録実習	・業務記録の意義と記入方法について	溝口 範子
10	小集団指導法実習	・小集団に対する指導法について ・障がい児施設巡回実習準備	溝口 範子
11	配慮を要する者への 歯科保健指導	・障がい児の一般的特徴 ・障がい児の口腔の特徴 ・障がい児の歯科衛生介入	溝口 範子
12	小集団指導法実習	・小集団に対する指導法について ・障がい児施設巡回実習準備	溝口 範子
13	知識生理④	出題基準別問題の解説とまとめ	佐藤 とも子
14	知識生理⑤	出題基準別問題の解説とまとめ	佐藤 とも子
15	知識生理⑥	出題基準別問題の解説とまとめ	佐藤 とも子
16	知識生理⑦	出題基準別問題の解説とまとめ	佐藤 とも子
17	知識生理⑧	出題基準別問題の解説とまとめ	溝口 範子
18	知識生理⑨	出題基準別問題の解説とまとめ	溝口 範子
19	知識生理⑩	出題基準別問題の解説とまとめ	溝口 範子
20	知識生理⑪	出題基準別問題の解説とまとめ	溝口 範子

【科目名】 栄養学

【年次・開講期】 2年次 後期

【時間】 30時間

【単位】 1単位

【担当講師】 高氏 千秋 栄養士・管理栄養士実務経験あり

【授業概要】 歯科衛生士に必要な栄養学の基礎的な知識を習得するとともに、現代の健康および栄養に関する課題とそれを取り巻く社会的な要因等について学び、食生活改善の取り組みにおける役割を理解する。

【到達目標】

- ・生体の構成要素を概説できる。
- ・生体における化学反応について理解できる。
- ・糖質と脂質とタンパク質の代謝について説明できる。
- ・ビタミン・ミネラルの個々の働きについて理解できる。
- ・水の生体内での役割を説明できる。
- ・食事摂取基準について概説できる。
- ・ライフステージ別の食生活の特徴を把握し、食生活指導ができる。
- ・食品の物性・テクスチャーを理解し、摂食嚥下機能に応じた食形態について説明できる。

【教科書】 歯科衛生学シリーズ 人体の構造と機能2 栄養と代謝
(一社)全国歯科衛生士教育協議会監修 医歯薬出版株式会社

【参考書】 プリント配布

【評価方法】 定期試験(後期)100%

【授業方法】 講義

【授業計画】

回	授業項目	授業内容	担当者
1	栄養の基礎知	1)食生活と栄養 2)栄養素の消化・吸収	高氏 千秋
2	食事摂取基準	1)エネルギー必要量 2)基礎代謝	高氏 千秋
3	食事摂取基準	3)日本人の食事摂取基準	高氏 千秋
4	栄養素の働き1	糖質	高氏 千秋
5	実習	実習:食品の糖度とPHの測定	高氏 千秋
6	栄養素の働き2	タンパク質	高氏 千秋
7	栄養素の働き3	脂質	高氏 千秋
8	栄養素の働き4	ビタミン	高氏 千秋
9	栄養素の働き5	ミネラル	高氏 千秋
10	栄養素の働き6	水、食物繊維	高氏 千秋
11	食生活と健康1	1)国民の健康と栄養の現状 2)望ましい食生活	高氏 千秋
12	食生活と健康2	食事バランスガイド	高氏 千秋
13	食生活と健康3	ライフステージ別の栄養と調理	高氏 千秋
14	実習	ライフステージ別の栄養と調理(試食)	高氏 千秋
15	食べ物と健康	1)食品の成分と分類 2)食べ物の物性	高氏 千秋

【科目名】 障害者歯科

【年次・開講期】 2年次 前期

【時間】 20時間

【単位】 1単位

【担当講師】 北海道医療大学歯学部 口腔構造・機能発育学系 小児歯科学分野
 蓑輪 映里佳 歯科医師実務経験あり
 榊原 さや夏 歯科医師実務経験あり

【授業概要】 障害のある人に対する歯科保健を実践するために、その身体的、精神的および心理的特徴と歯科治療および口腔衛生管理上の留意点を理解する。

- 1)健康、疾病と障害の概念
- 2)障害者の歯科治療上の注意点
- 3)障害者の歯科保健・口腔衛生管理

【到達目標】

- ・障害の概念を説明できる。
- ・疾患と各種障害の関連づけができる。
- ・障害がある人への対応と口腔の特徴を理解できる。
- ・障害者の歯科医療と行動調整について歯科衛生士の役割が理解できる。
- ・障害がある人の口腔ケアを説明できる。
- ・専門的口腔ケアの理解ができる。
- ・摂食嚥下リハビリテーションの意義と流れについて説明できる。

【教科書】 歯科衛生士学シリーズ 障害者歯科
 (一社)全国歯科衛生士教育協議会 監修 医歯薬出版株式会社

【参考書】 プリント配布

【評価方法】 定期試験(前期)100%

【授業方法】 講義

【授業計画】

回	授業項目	授業内容	担当者
1	オリエンテーション 1章 障害の概念 2章 歯科治療で特別な支援が必要な疾患	・障害の概念、分類(ICIDH, ICF) ・障害者への理解 ・ノーマライゼーションとバリアフリー ・精神発達・心理的発達と行動障害 精神遅滞、広汎性発達障害	榊原 さや夏
2	2章 歯科治療で特別な支援が必要な疾患	・運動障害・感覚障害 脳性麻痺・筋ジストロフィー	蓑輪 映里佳
3	2章 歯科治療で特別な支援が必要な疾患 3章 障害の歯科医療と行動調整	・精神および行動の障害 ・その他の障害 ・行動変容法 行動療法、体動のコントロール	蓑輪 映里佳
4	4章 健康支援と口腔衛生管理	・専門的口腔ケア 器質的口腔ケア、機能的口腔ケア	蓑輪 映里佳
5	5章 摂食嚥下リハビリテーションと歯科衛生士の役割	・摂食嚥下リハビリテーションとは 摂食5期、スクリーニングテスト、精密検査 ・試験対策	榊原 さや夏

【科目名】 高齢者歯科

【年次・開講期】 2年次 前期

【時間】 20時間

【単位】 1単位

【担当講師】 北海道医療大学歯学部 口腔機能修復・再建学系 咬合再建補綴学分野
准教授 豊下 祥史 歯科医師実務経験あり

【授業概要】 高齢者の生活の質の向上に貢献するために、高齢者の身体的、精神的および心理的特徴を理解し、口腔機能の維持や回復に必要な歯科医学的知識と技能・態度を習得する。

【到達目標】

- ・高齢社会の現状を理解できる。
- ・高齢社会における人口の推移、寿命、死因について説明できる。
- ・高齢者の身体機能の老化について説明できる。
- ・高齢者の精神・心理的变化が理解できる。
- ・高齢者に多い全身疾患、口腔疾患について説明できる。
- ・高齢者生活機能についての評価法がわかる。
- ・高齢者の薬剤服用に対する反応について理解できる。
- ・高齢者の栄養評価方法について説明できる。

【教科書】 歯科衛生学シリーズ 高齢者歯科
(一社)全国歯科衛生士教育協議会 監修 医歯薬出版株式会社

【参考書】 プリント配布

【評価方法】 定期試験(前期)100%

【授業方法】 講義

【授業計画】

回	授業項目	授業内容	担当者
1	高齢者をとりまく 社会と環境	高齢者の現状や特性、介護保険制度や要介護高齢者を取り巻く環境を知ることにより、歯科医療の果たす役割について学習する。	豊下 祥史
2	加齢による 身体的・精神的変化1	高齢者の加齢による身体的および精神的変化について学習する。	豊下 祥史
3	加齢による 身体的・精神的変化2	高齢者に多い基礎疾患や口腔の疾患について学習する。	豊下 祥史
4	高齢者の状態の把握1	高齢者の生活機能の評価方法について学習する。	豊下 祥史
5	高齢者の状態の把握2	高齢者の栄養状態の評価方法および服薬による影響について学習	豊下 祥史

【科目名】	歯科診療補助Ⅰ
【年次・開講期】	1年次 前期・後期
【時間】	90時間
【単位】	2単位
【担当講師】	札幌歯科学院専門学校 歯科衛生士科 専任教員 伊勢谷亜美 歯科衛生士実務経験あり 専任教員 佐藤とも子 歯科衛生士実務経験あり
【授業概要】	歯科診療補助は社会的情勢や歯科医療の高度化にともなって歯科衛生士としての専門性を多く発揮できる領域であるため、歯科衛生士の役割を理解し、歯科材料や歯科器械の取り扱いができる。
【到達目標】	<ul style="list-style-type: none"> ・衛生材料の作製手順や作り方を習得できる。 ・手指消毒の意義を理解し、各種手洗い法の手順を確実に学ぶことができる。 ・歯科用ユニットの各部名称、取扱いを理解できる。 ・歯科診療室で用いられる薬物について知識を理解できる。 ・器具の滅菌・消毒の利点・欠点・特徴について学ぶことができる。 ・アルジネート印象材の主成分、特徴、用途、練和法、印象採得の手順も理解できる。 ・歯科用石膏の種類と用途や性状について学ぶことができる。 ・寒天印象材を用いて印象採得前の恒温槽の準備、使用器材の名称、用途、取扱い上の注意点等を示説により習得できる。 ・各種合着材、接着材の種類、主成分、特徴、用途、硬化反応、粉液比について理解できる。 ・仮封の目的、方法を学ぶことができる。 ・歯髄処置、根管治療、根管充填の各処置別の器具の名称、用途、特徴等を習得できる。 ・コンポジットレジン組成の種類、適応症、取扱い法について理解できる。 ・共同動作を行うにあたり術者、介助者の位置や姿勢など基本的知識を習得できる。 ・各補綴物の特性を理解し、診療ごとの補助、介助の方法について学ぶことができる。 ・抜歯の器具・器材・術式を理解できる。 ・矯正治療用器具の特徴や取り扱いについて理解し、補助内容、術式と関連づけて整理できる。 ・ゴム質印象材の性質と取扱い方法を習得できる。 ・X線撮影の補助ができるように撮影から現像までに使用する器具や材料の準備ができる。 ・共同操作について相互実習をとおして実践する。
【教科書】	歯科衛生学シリーズ 歯科診療補助論 歯科衛生学シリーズ 歯科材料 歯科衛生学シリーズ 歯・歯髄疾患 保存修復学・歯内療法学 歯科衛生学シリーズ 咀嚼異常・咬合異常1 歯科補綴学 歯科衛生学シリーズ 咀嚼障害・咬合異常2 歯科矯正 歯科衛生学シリーズ 口腔外科・歯科麻酔 (一社)全国歯科衛生士教育協議会 監修 医歯薬出版株式会社 新人歯科衛生士・歯科助手ポケットマニュアル第2版 医歯薬出版株式会社 わかりやすい歯科放射線学 学建書院 イラストと写真でわかる歯科材料の基礎 第4版 永末書店
【参考書】	資料プリント
【評価方法】	出席状況・授業態度10%、実技テスト10%、定期試験80%
【授業方法】	講義・実習・実験

【授業計画】

回	授業項目	授業内容	担当者
1	・総論	・歯科診療補助の概要 ・歯科衛生士とは	佐藤 とも子
回	授業項目	授業内容	担当者
2	・衛生材料取扱い 綿球・ロールワッテ カット綿	・綿花の取り扱い 1) 綿花断裁、たたみ綿花作製 2) 綿球、ロールワッテ作製	伊勢谷 亜美
3	・衛生材料取扱い 綿球・ロールワッテ カット綿	・綿花の取り扱い 1) 綿花断裁、たたみ綿花作製 2) 綿球、ロールワッテ作製	伊勢谷 亜美
4	・医療安全と感染予防	・手指消毒 (感染防止の基本である手洗いの必	伊勢谷 亜美
5	・医療安全と感染予防	・医療安全	伊勢谷 亜美
6	・歯科用ユニットについて ・薬品・歯科材料の管理	・診療室の環境整備 ・歯科ユニット各部の名称と使用時の注意点	伊勢谷 亜美
7	・消毒・滅菌	・寒天培地の観察	伊勢谷 亜美
8	・医療安全と感染予防	・感染予防対策と滅菌・消毒	佐藤 とも子
9	・アルジネート印象材	・印象材の基本的な取扱いについて学ぶ	佐藤 とも子
10	・アルジネート印象材	・印象材の基本的な取扱いについて学ぶ	佐藤 とも子
11	・アルジネート印象材	・印象材練和実習	佐藤 とも子
12	・模型材料	・歯科用石膏の種類と用途	佐藤 とも子
13	・模型材料	・歯科用石膏の種類と用途	佐藤 とも子
14	・模型材料	・模型作製	佐藤 とも子
15	・模型材料	・模型作製	佐藤 とも子
16	・寒天印象材	・寒天印象材の基礎知識	佐藤 とも子
17	・寒天印象材	・連合印象材の流れを理解する	佐藤 とも子
18	・寒天印象材	・模型作製	佐藤 とも子
19	保存材料 ・合着材・接着	・各種合着用セメントの性質と取扱い方法を知る	佐藤 とも子
20	保存材料 ・合着材・接着	・ガラスアイオノマーセメント・カルボキシレートセメント ・リン酸亜鉛セメント	佐藤 とも子
21	保存材料 ・合着材・接着	・ガラスアイオノマーセメント・カルボキシレートセメント ・リン酸亜鉛セメント	佐藤 とも子
22	保存材料 ・仮着材	・仮着材の性質と取扱いを知る	佐藤 とも子
23	・仮封材	・仮封材の性質と取扱い方法を知り実践する	佐藤 とも子
24	・仮封材	・ストップングの取扱いを会得させる ・酸化亜鉛ユージノールセメントの取扱いを知る	佐藤 とも子
25	保存器材 ・保存・修復	・麻酔抜髄と感染根管治療の術式と使用器具について	佐藤 とも子
26	保存器材 ・歯内・修復用レジン	・CR充填の目的と術式、留意点を知り実践	佐藤 とも子
27	共同動作 (講義)	・歯科診療所における共同動作の目的を知る	伊勢谷 亜美
28	共同動作 ・患者誘導・ライティング	・共同動作の必要性とルールを知り、実践する	伊勢谷 亜美
29	共同動作 ・器具受け渡し	・共同動作の必要性とルールを知り、実践する ・患者誘導の留意点を知り、実践する	伊勢谷 亜美

回	授業項目	授業内容	担当者
30	共同動作 ・口腔内洗浄・バキューム	・共同動作の必要性とルールを知り、実践する ・患者誘導の留意点を知り、実践する	伊勢谷 亜美
31	補綴器械	・器械・器具の取り扱い ・鉗子	佐藤 とも子
32	補綴器械	・WAX ・咬合器	佐藤 とも子
33	口外器械 ・普通抜歯・困難抜歯	・普通抜歯・難抜歯の違い	伊勢谷 亜美
34	口外器械 ・普通抜歯・困難抜歯	・抜歯の際に使用する器具・器材について ・カートリッジ・メス・持針器取扱い	伊勢谷 亜美
35	矯正器械	・矯正用プライヤーの名称と用途を知る ・その他の器具の名称と用途を知る	伊勢谷 亜美
36	ゴム質印象材	・ゴム質印象材の性質と取扱い方法を習得する	佐藤 とも子
37	ゴム質印象材	・ゴム質印象材の性質と取扱い方法を習得する ・マネキン印象	佐藤 とも子
38	X線現像実習	・現像の実際 ・撮影済みフィルムの管理	伊勢谷 亜美
39	滅菌・消毒 安全管理	・歯科器材の滅菌法 ・安全管理対策	伊勢谷 亜美
40 ↓ 45	相互実習	・共同操作について相互実習をととして実践する ・寒天印象材とアルジネート印象材を使用した連合印象	伊勢谷 亜美

【科目名】	歯科診療補助Ⅱ
【年次・開講期】	2年次 前期・後期
【時 間】	110時間
【単 位】	2単位
【担当講師】	札幌歯科学院専門学校 歯科衛生士科 専任教員 伊勢谷 亜美 歯科衛生士実務経験あり 専任教員 飯塚 貴子 歯科衛生士実務経験あり 専任教員 土門 京子 歯科衛生士実務経験あり 専任教員 佐藤とも子 歯科衛生士実務経験あり 専任教員 岩越 帆乃香 歯科衛生士実務経験あり
【授業概要】	臨床実習にむけ、それぞれの歯科治療に即した歯科診療の補助を習得する。
【到達目標】	<ul style="list-style-type: none"> ・スタンダードプレコーションができる。 ・医療廃棄物の取り扱いができる。 ・消毒・滅菌ができる。 ・マネキンにおいてラバーダム防湿ができる。 ・隔壁法に用いる器具の操作ができる。 ・歯肉圧排法に用いる器材の操作、取り扱いができる。 ・歯間分離法に用いる器具の操作ができる。 ・合着材・接着材・仮着材の取り扱いができる。 ・仮封材の取り扱いができる。 ・歯冠修復材の取り扱いができる。 ・歯周パックの取り扱いができる。 ・アルジネート印象材、寒天印象材の取り扱いができる。 ・ゴム質印象材の取り扱いができる。 ・プロビジョナルレストレーションの製作手順が説明できる。 ・フォーハンドシステムの基本動作ができる。 ・コンポジットレジン充填の準備と後始末ができる。 ・歯髄処置、根管治療、根管充填の器具、材料の準備と後始末ができる。 ・コンポジットレジン充填の準備と後始末ができる。 ・クラウン、ブリッジ装着時に用いる器材の準備ができる。 ・拔牙用器材の準備と後始末ができる。 ・拔牙後の注意を説明できる。
【教科書】	歯科衛生学シリーズ 歯科診療補助論 歯科衛生学シリーズ 歯科材料 歯科衛生学シリーズ 歯・歯髄疾患 保存修復学・歯内療法学 歯科衛生学シリーズ 咀嚼異常・咬合異常1 歯科補綴学 歯科衛生学シリーズ 咀嚼障害・咬合異常2 歯科矯正 歯科衛生学シリーズ 口腔外科・歯科麻酔 (一社)全国歯科衛生士教育協議会 監修 医歯薬出版株式会社
【参考書】	新人歯科衛生士・歯科助手ポケットマニュアル第2版 医歯薬出版株式会社
【評価方法】	出席状況・授業態度10%、実技テスト10%、定期試験80%
【授業方法】	講義・実習

【授業計画】

回	授業項目	授業内容	担当者
1	歯式の記載について 歯科健康診査準備	・歯式記載の意味と記号の復習 ・歯科健診に使用する器具の準備	伊勢谷 亜美
2	歯冠修復の術式	・歯冠修復の流れ 使用機材について	岩越 帆乃香
3	歯内療法の術式	・歯内療法の流れ 使用する器材について	岩越 帆乃香
4	歯科補綴の術式	・補綴物の種類 ・義歯取り扱い	佐藤 とも子
5	口腔外科器材の取り扱い	・歯科麻酔用器材の取り扱い ・普通抜歯器材の取り扱い	伊勢谷 亜美
6	医療安全と感染予防	・ヒヤリハットについて ・危険予知訓練	土門 京子
7	口腔外科器材の取り扱い	・歯科用カートリッジの取り扱い試験 ・抜歯鉗子選定試験	伊勢谷 亜美
8	プロビジョナルレストレーション作製実習1	・プロビジョナルレストレーション(TEC)について 既製冠を用いる方法①	飯塚 貴子
9	歯肉圧排法1	・歯肉圧排について	佐藤 とも子
10	プロビジョナルレストレーション作製実習2	・プロビジョナルレストレーション作製実習 既製冠を用いる方法②	飯塚 貴子
11	プロビジョナルレストレーション作製実習3	・プロビジョナルレストレーション作製実習 既製冠を用いる方法③	飯塚 貴子
12	歯肉圧排法2	・歯肉圧排と寒天-アルジネート連合印象採得	佐藤 とも子
13	高齢者施設での患者対応	・認知症患者の実際 ・認知症患者へのサポート	土門 京子
14	プロビジョナルレストレーション作製実習4	・プロビジョナルレストレーション作製実習 直接法①	飯塚 貴子
15	プロビジョナルレストレーション作製実習5	・プロビジョナルレストレーション作製実習 直接法②	飯塚 貴子
16	プロビジョナルレストレーション作製実習6	・プロビジョナルレストレーション作製実習 直接法③	飯塚 貴子
17	概形印象採得実習1	・下顎全顎	佐藤 とも子
18	概形印象採得実習2	・上顎全顎・・・石膏注入	佐藤 とも子
19	概形印象採得実習3	・技工士科1年生対象 スタディモデルの振り返り	佐藤 とも子
20	医療安全と感染予防2	・救急処置 血圧測定、経皮的酸素飽和度の測定、モニター管理	土門 京子
21	ラバーダム防湿法1	・1歯有翼露出法	土門 京子
22	ラバーダム防湿法2	・1歯無翼露出法	土門 京子
23	ラバーダム防湿法3	・多数歯露出法 ・まとめ	土門 京子
24	直接修復法	・コンポジットレジン修復 ・歯間分離、隔壁	岩越 帆乃香
25	ゴム質印象材取り扱い1	・2回法	岩越 帆乃香
26	ゴム質印象材取り扱い2	・1回法	岩越 帆乃香
27	合着材・接着材の取り扱い	・各種合着材、接着材の取り扱い	岩越 帆乃香
28	歯周パックの取り扱い	・歯周パック材の取り扱い(非ユージノール系)	岩越 帆乃香

回	授業項目	授業内容	担当者
29	材料取り扱い実習	・仮封材、仮着材、合着材取り扱い	岩越 帆乃香
30	材料取り扱い実習	・仮封材、仮着材、合着材取り扱い	岩越 帆乃香
31	臨床実習	・臨床実習の振り返り	岩越 帆乃香
32	医療安全と感染予防	・危険予知トレーニング	土門 京子
33	プロビジョナルレストレーション作製実習7	・プロビジョナルレストレーション作製実習 間接法①	飯塚 貴子
34	プロビジョナルレストレーション作製実習8	・プロビジョナルレストレーション作製実習 間接法②	飯塚 貴子
35	プロビジョナルレストレーション作製実習9	・プロビジョナルレストレーション作製実習 ブリッジ	飯塚 貴子
36	歯科診療室における 歯科衛生士業務について	・臨床実習の振り返り	伊勢谷 亜美
37	歯科診療補助実習の 歯科衛生士業務について	・臨床実習の振り返り	伊勢谷 亜美
38	歯科診療室における 歯科衛生士業務について	・臨床実習の振り返り	伊勢谷 亜美
39	歯科診療補助実習の 歯科衛生士業務について	・臨床実習の振り返り	伊勢谷 亜美
40	歯科診療室における 歯科衛生士業務について	・臨床実習の振り返り	伊勢谷 亜美
41	歯科診療補助実習の 歯科衛生士業務について	・臨床実習の振り返り	伊勢谷 亜美
42	歯科診療室における 歯科衛生士業務について	・臨床実習の振り返り	伊勢谷 亜美
43	歯科診療補助実習の 歯科衛生士業務について	・臨床実習の振り返り	伊勢谷 亜美
44	歯科訪問診療における 対応1	・歯科訪問の診療の概要	講師選択中
45	歯科訪問診療における対応 対応2	・歯科訪問診療の流れ	講師選択中
46	歯科診療室における 対応3	・歯科訪問に必要な器材とその管理	講師選択中
47	歯科診療室における 歯科衛生士業務について	・臨床実習の振り返り	岩越 帆乃香
48	歯科診療室における 歯科衛生士業務について	・臨床実習の振り返り	伊勢谷 亜美
49	歯科診療室における 歯科衛生士業務について	・臨床実習の振り返り	岩越 帆乃香
50	歯科診療室における 歯科衛生士業務について	・臨床実習の振り返り	伊勢谷 亜美
51	歯科診療室における 歯科衛生士業務について	・臨床実習の振り返り	岩越 帆乃香
52	歯科診療室における 歯科衛生士業務について	・臨床実習の振り返り	伊勢谷 亜美
53	まとめ	2年次のまとめ	岩越 帆乃香
54	まとめ	2年次のまとめ	伊勢谷 亜美
55	まとめ	2年次のまとめ	岩越 帆乃香

【科目名】 歯科診療補助Ⅲ

【年次・開講期】 3年次 前期・後期

【時間】 60時間

【単位】 2単位

【担当講師】 札幌歯科学院専門学校 歯科衛生士科
専任教員 伊勢谷亜美 歯科衛生士実務経験あり
専任教員 飯塚 貴子 歯科衛生士実務経験あり
専任教員 佐藤とも子 歯科衛生士実務経験あり
専任教員 土門 京子 歯科衛生士実務経験あり
専任教員 岩越 帆乃香 歯科衛生士実務経験あり

【授業概要】 歯科診療補助に関する知識や技能を身につける。また、国家試験出題基準に沿った問題が解けるよう考え方を整理する。

【到達目標】

- ・歯科医療における医療安全と感染予防の概念を理解できる。
- ・偶発事故や緊急時の対応を選択することができる。
- ・歯科領域に必要な臨床検査の目的と役割を理解できる。
- ・歯科診療室で用いられる薬物について知識を理解できる。
- ・器具の滅菌・消毒の利点・欠点・特徴について学ぶことができる。
- ・歯科臨床における治療の特徴を説明できる。
- ・歯科診療の手順に沿った器材の準備と補助ができる。
- ・歯科診療で扱う歯科材料の特徴・用途の説明と取り扱いができる。
- ・主な全身疾患とその対応について理解ができる。
- ・様々な全身疾患と口腔所見の特徴を知り、診療での注意点を説明できる。
- ・周術期における口腔機能管理の概要を述べることができる。
- ・手術における術前、術中、術後の歯科衛生士の対応を説明できる。
- ・歯科訪問診療の概要を述べることができる。

【教科書】 歯科衛生学シリーズ 歯科診療補助論
歯科衛生学シリーズ 歯科材料
歯科衛生学シリーズ 歯周病学
歯科衛生学シリーズ 歯の硬組織・歯髄疾患 保存修復・歯内療法
歯科衛生学シリーズ 口腔外科・歯科麻酔
歯科衛生学シリーズ 高齢者歯科
歯科衛生学シリーズ 咀嚼障害・咬合異常2 歯科矯正
歯科衛生学シリーズ 小児歯科
(一社)全国歯科衛生士教育協議会 医歯薬出版株式会社

【参考書】 資料プリント

【評価方法】 定期試験(後期)100%

【授業方法】 講義・実習

【授業計画】

回	授業項目	授業内容	担当者
1	歯科材料取り扱い	・各種歯科材料の復習	伊勢谷 亜美

回	授業項目	授業内容	担当者
2	医療安全と感染予防	・医療安全対策の復習 ・インシデントアクシデント報告について ・臨床実習の振り返り	伊勢谷 亜美
3	歯科臨床と診療の補助	・保存修復・歯内療法 ・臨床実習の振り返り	岩越 帆乃香
4	歯科臨床と診療の補助	・歯周外科治療 ・臨床実習の振り返り	飯塚 貴子
5	歯科臨床と診療の補助	・歯科補綴治療 ・臨床実習の振り返り	佐藤 とも子
6	歯科臨床と診療の補助	・口腔外科・麻酔 ・臨床実習の振り返り	伊勢谷 亜美
7	歯科臨床と診療の補助	・歯科矯正治療 ・臨床実習の振り返り	土門 京子
8	歯科臨床と診療の補助	・小児歯科治療と対応 ・臨床実習の振り返り	土門 京子
9	全身疾患とその対応1	・主な全身疾患の基礎知識 ・診療上での注意点	伊勢谷 亜美
10	全身疾患とその対応2	・主な全身疾患の基礎知識 ・診療上での注意点	伊勢谷 亜美
11	全身疾患とその対応3	・主な全身疾患の基礎知識 ・診療上での注意点	伊勢谷 亜美
12	周術期における 歯科診療の補助1	・周術期における口腔機能管理の概要・病態	伊勢谷 亜美
13	周術期における 歯科診療の補助2	・周術期における治療時の対応	伊勢谷 亜美
14	口腔機能管理1	・口腔機能の種類と特徴 ・口腔機能の評価:演習	岩越 帆乃香
15	口腔機能管理2	・摂食嚥下障害と対応	土門 京子
16	口腔機能管理3	・ライフステージに対応した指導1	土門 京子
17	口腔機能管理4	・ライフステージに対応した指導2	土門 京子
18	臨床検査データの見方	・臨床検査データ各種	岩越 帆乃香
19	ホワイトニング実習1	・ホワイトニングの意義と目的 ・印象採得・模型作製	佐藤 とも子
20	ホワイトニング実習2	・ホームホワイトニングの実際	佐藤 とも子
21	ホワイトニング実習3	・オフィスホワイトニングの実際	佐藤 とも子
22	ホワイトニング実習まとめ	・ホワイトニングのまとめ	佐藤 とも子
23	知識生理①	・出題基準別問題・解説	伊勢谷 亜美
24	知識生理②	・出題基準別問題・解説	土門 京子
25	知識生理③	・出題基準別問題・解説	佐藤 とも子
26	知識生理④	・出題基準別問題・解説	飯塚 貴子
27	知識生理⑤	・出題基準別問題・解説	伊勢谷 亜美
28	知識生理⑥	・出題基準別問題・解説	土門 京子
29	知識生理⑦	・出題基準別問題・解説	佐藤 とも子
30	知識生理⑧	・出題基準別問題・解説	飯塚 貴子

【科目名】 歯科材料学

【年次・開講期】 1年次 後期

【時 間】 20時間

【単 位】 1単位

【担当講師】 北海道医療大学歯学部 口腔機能修復・再建学系 高度先進補綴学分野
講師 森 真理 歯科医師実務経験あり

【授業概要】 歯科医療の場では、数多くの材料がさまざまな用途に使用されている。したがって、歯科衛生士は、診療室で利用される歯科材料に関して十分な知識を身につけている必要がある。歯科材料学では、歯科材料のそれぞれの歯科治療における用途、基本的な性質および合理的な取り扱いを、材料学の基礎から学ぶ。まず、診療室で用いられる歯科材料の名称及びその成分が完全に覚えられていることが必要である。次に、材料を操作した時に生じる化学反応あるいは物理的変化がよく理解されており、利用目的に合った所要性質を発現させるための合理的な取り扱いが習得されていなければならない。

【到達目標】

- ・歯科材料を適切に取り扱うために必要な知識、技能、態度を習得する。
- ・歯科材料の種類、名称、成分および使用目的を説明する。
- ・歯科材料の化学的、物理的性質を説明する。
- ・歯科材料の適切な取り扱い方法を修得する。

【教科書】 歯科衛生学シリーズ 歯科材料(一社)全国歯科衛生士教育協議会監修 医歯薬出版株式会社イラストと写真でわかる歯科材料の基礎 第4版 永末書店

【参考書】 プリント配布

【評価方法】 定期試験(前期)100%

【授業方法】 講義

【授業計画】

回	授 業 項 目	授 業 内 容	担当者
1	◎歯科材料と歯科衛生士 ◎歯科材料の基礎知識 1. 機械的性質 2. 物理的性質 3. 化学的性質 4. 生物学的性質	歯科衛生士として知っておきたい基礎知識について学ぶ。歯科材料と歯質の性質を比較し、用途と性質の関係を理解する。応力とひずみの関係を理解する。材料試験法、熱膨張係数などの性質を学び、辺縁漏洩などとの関連を学ぶ。溶解や腐食などを理解し、材料の化学的安定性について学ぶ。化学的性質との関連で材料の生体安全性について学ぶ。 教科書 p 2～p 23	森 真理
2 3	◎印象材 1. アルジネート印象材 2. 寒天印象材 3. ゴム質(エラストマー)印象材 a. シリコーン印象材 b. ポリサルファイドゴム印象材 c. ポリエーテルゴム印象材 4. 酸化亜鉛ユージノール印象材 5. コンパウンド 6. 石膏印象材 7. 機能印象	歯科医療とくに補綴、修復治療の過程において、印象採得が何を目的として、どのように行われるかをまず理解する。印象採得に用いられる材料(印象材)の種類を知り、タイプ別にそれぞれの特徴を把握する。これと同時に印象材として備えていなければならない性質を学ぶ。また印象材として重要な基本的性質の科学的概念を理解する。 教科書 p 43～58	森 真理

回	授業項目	授業内容	担当者
4	◎模型用材料 1. 普通石膏 2. 硬質石膏 3. 超硬質石膏	歯科用石こうの種類、名称、化学式および用途を覚える。石こうの練和に用いる器具、練和方法を学ぶ。石こうの硬化機構を理解する。硬化時間、硬化膨張および強度に影響する因子を学ぶ。 教科書 p 59～p 71	森 真理
5	◎合着・接着材 a. リン酸亜鉛セメント b. 酸化亜鉛ユージノールセメント c. カルボキシレートセメント d. グラスアイオノマーセメント e. レジン系セメント	合着、裏装、充填など歯科用セメントの口腔内の用途を学ぶ。歯科用セメントの種類、主用途、粉末と液の主成分を覚える。歯科用セメントに要求される操作性、機械的性質、化学的性質、生物学的性質等を理解し、それらを調べる試験方法を学ぶ。 教科書 p 73～89	森 真理
6 5 8	◎歯冠修復材 1. 即時重合レジン 2. コンポジットレジン 3. グラスアイオノマーセメント 4. アマルガム 5. 仮封材	即時重合レジンの組成、重合、物性、取り扱いについて学ぶ。MMAとその重合、即時重合レジンについて学ぶ。コンポジットレジンの組成と役割を理解する。その他の歯冠修復材について学ぶ。仮封材・仮着剤について学ぶ。 教科書 p 90～127	森 真理
9	◎新しい歯科材料 1. インプラント 2. ホワイトニング 3. ファイバーポスト 4. セラミックインレー 5. オールセラミッククラウン	新しい歯科材料の性質・機能などを理解する。(材料の使用の実際を知る。) 教科書 p 142～p 149	森 真理
10	◎使用の実際 1. 保存・歯内 2. 補綴 3. 口腔外科 4. 最先端医療 5. その他	歯科医療の現場で、歯科材料がどのように使用されているか学ぶ。また、前回までの講義で触れられなかった材料について学ぶ。 (1.根管充填、2.支台築造、3.義歯、4.口腔外科、5.歯周治療(再生療法)、6.矯正、7.予防) 教科書 p 150～169	森 真理

【科目名】 歯科放射線

【年次・開講期】 1年次 後期

【時間】 24時間

【単位】 1単位

【担当講師】 札幌医科大学医学部 口腔外科学講座
助教 出張 裕也 歯科医師実務経験あり
札幌歯科学院専門学校 歯科衛生士科
専任教員 伊勢谷 亜美 歯科衛生士実務経験あり

【授業概要】 歯科放射線の知識と撮影補助の技術を習得させる

【到達目標】

- ・歯科診療における放射線防護とエックス線検査の役割を説明できる。
- ・エックス線画像の成り立ちを説明できる。
- ・口内法エックス線撮影の種類を説明できる。
- ・パノラマエックス線撮影の概要と撮影法を理解する。
- ・歯科・口腔外科領域で用いる画像検査法を理解する。
- ・口内法エックス線撮影の準備手順、撮影方法を理解する。
- ・パノラマエックス線撮影の準備手順、撮影方法を理解する。
- ・現像の手順、写真の管理法を説明できる

【教科書】 わかりやすい歯科放射線学 第3版 学研書院

【参考書】 プリント配布

【評価方法】 定期試験(前期)100%

【授業方法】 講義・実習

【授業計画】

回	授業項目	授業内容	担当者
1	1章 歯科医療と放射線	1-歯科におけるエックス線写真と画像診断 2-放射線とその性質 3-放射線の人体への影響と防護	出張 裕也
2	2章 エックス線画像の形成	1-エックス線と画像の形成 2-エックス線フィルムと増感紙 3-デジタル画像系	出張 裕也
	3章 歯科におけるエックス線検査	1-口内法エックス線撮影 2-パノラマエックス線撮影 3-頭部エックス線規格撮影 4-その他の画像検査法	出張 裕也
3	4章 口内法エックス線撮影の実際と歯科衛生士の役割	1-口内法エックス線撮影の準備 2-フィルムとヘッド(管容器)の位置づけ 3-配慮が必要な患者のエックス線撮影 4-感染予防 5-口内法エックス線写真のみかた	出張 裕也
	5章 パノラマエックス線撮影の実際と歯科衛生士の役割	1-パノラマエックス線撮影の準備 2-患者の誘導と位置づけ 3-パノラマエックス線写真のみかた	出張 裕也
4	6章 写真処理と画像保管の実際	1-写真処理 2-写真処理における品質管理 3-品質保証計画の実施 4-医療機器の保守・点検 5-エックス線写真の整理・観察・保管	出張 裕也
5	7章 放射線治療と口腔管理	1-放射線治療 2-放射線治療による副作用(有害事象) 3-放射線治療患者の口腔管理	出張 裕也
6	エックス線写真の現像の実際	暗室の使用方法 自動現像機のしくみと使用方法について インスタント現像の方法について	専任教員

回	授業項目	授業内容	担当者
7	パノラマ撮影実習	①パノラマ撮影と現像 (自動現像機にて現像)	出張 裕也
8	デジタルにてパノラマ・デ ンタル実習/3Fにてデンタ ル実習	①1階センターにてデジタル撮影の見学 ②3階にてデンタル撮影:上顎前歯部1枚 (自動現像機にて現像)	出張 裕也
9	デンタル撮影実習	①デンタル:両側どちらか6番(自動現像) (インスタント現像)	出張 裕也
10	まとめの講義	実習のまとめ 補足の講義	出張 裕也

【科目名】 臨床検査

【年次・開講期】 2年次 後期

【時 間】 20時間

【単 位】 1単位

【担当講師】 札幌医科大学医学部 口腔外科学講座
宮本 昇 歯科医師実務経験あり

【授業概要】 患者の全身的健康状態や全身疾患を把握するために必要な基本的検査および全身の一般検査の意義と関連を理解する。また実習を通して救命救急処置器材の使用法やバイタルサインの測定を習得する。

【到達目標】

- ・臨床検査の概要を理解する。
- ・生体検査について理解する。
- ・検体検査について理解する。
- ・口腔領域の臨床検査について理解する。
- ・摂食・嚥下関連の検査について理解する。
- ・救急蘇生法を習得する。
- ・体温、血圧、脈拍測定の手技を習得する。

【教科書】 歯科衛生学シリーズ 臨床検査
(一社)全国歯科衛生士教育協議会監修 医歯薬出版株式会社

【参考書】

【評価方法】 定期試験(前期)100%

【授業方法】 講義・実習

【授業計画】

回	授 業 項 目	授 業 内 容	担当者
1	1章 臨床検査とは 2章 生体検査	臨床検査の概要 体温、脈拍、血圧等について	宮本 昇
2	3章 検体検査	血液検査、感染症(細菌)検査、病理検査について	宮本 昇
3	4章 口腔領域の臨床 検査 5章 摂食・嚥下関連の 検査	口臭検査、味覚検査、歯科金属アレルギーの検査、舌の検査、 口腔粘膜の検査、唾液検査、歯周組織の検査、歯の検査、 根管内細菌培養検査について 摂食・嚥下障害のスクリーニングテスト、摂食・嚥下障害の検 査法について	宮本 昇
4	生理検査の実習 救急蘇生実習	生理検査の実習 救急蘇生実習	宮本 昇
5	主な疾患・病態別検査値 のとらえ方	具体的な疾患・病態別の歯科におけるポイントについて	宮本 昇

【科目名】 臨地・臨床実習

【年次・開講期】 1年次・2年次・3年次 前・後期

【時 間】 945時間

【単 位】 20単位(1年次:1単位、2年次:9単位、3年次:10単位)

【担当講師】 協力歯科医師・歯科衛生士等 実務経験あり

【授業概要】 既習の歯科衛生士業務を実践と結びつけながら、実践能力を養うため、歯科臨床等の場をとおして歯科衛生士としての必要な知識、技能を学ぶ。

【到達目標】

- ・医療人としての身だしなみを整える。
- ・患者に対していたわりを持って接する。
- ・プライバシー、診療室の規則を厳守する。
- ・診療室の環境整理ができる。
- ・自己の健康管理ができる。
- ・対象者、状況に応じた挨拶、返事、対応ができる。
- ・チーム医療の中での歯科衛生士の位置づけを理解し行動する。
- ・指示されたことに正確に対応し報告する。
- ・医療スタッフの技能・態度に対して敬意を表し、良好な関係を築く。
- ・医療安全管理に配慮した行動をとる。
- ・器材・機器および薬品の管理の方法を理解し、それに応じた行動をとる。
- ・患者のデータ資料の管理方法を理解し、それに応じた行動をとる。
- ・歯科治療の術式がわかる。
- ・歯科用器具の用途、使用法を述べる。
- ・器材、器具の準備、後始末ができる。
- ・スムーズな誘導ができる。
- ・有病者の病態がわかる。
- ・歯科予防処置、歯科診療補助、歯科保健指導について理解を深める。

【評価方法】 実習先医院からの評価100%

【科目名】 医療保険事務

【年次・開講期】 3年次 前期

【時 間】 20時間

【単 位】 1単位

【担当講師】 札幌歯科医師会
理事 中尾 忠篤 歯科医師実務経験あり

【授業概要】 保険診療に関する基礎的な知識を習得するとともに、保険請求に伴うカルテ記載、レセプト記載ならびに電子請求に伴うPC入力方法等について保険療養担当規則に則った診療報酬業務を習得する。

【到達目標】

- ・社会保障制度について理解できる。
- ・医療保険の種類について理解できる。
- ・カルテの記載について理解できる。
- ・診療報酬明細の記載について理解できる。
- ・電子媒体請求のPC入力を理解できる。
- ・電子媒体による請求方法を理解できる。

【教科書】 「歯科保健請求マニュアル」令和4年度版 医歯薬出版株式会社

【参考書】

【評価方法】 定期試験(後期)100%

【授業方法】 講義・演習

【授業計画】

回	授 業 項 目	授 業 内 容	担当者
1 ・ 2	社会保険請求事務業務 総論	・社会保険 ・医療保険 ・診療報酬 ・歯科医療の法律、指導・監査 ・指導・監査 ・カルテ記載	中尾 忠篤
3 ・ 4	社会保険請求事務業務 各論	・症例カルテ記載 ・手書きレセプト記載 ・診療報酬請求明細記載 ・総括表記載	中尾 忠篤
5	社会保険請求事務業務 各論	・電子媒体請求のPC入力 ・電子媒体による請求方法	中尾 忠篤

【科目名】 訪問歯科

【年次・開講期】 2年次 後期

【時間】 28時間

【単位】 1単位

【担当講師】 東苗穂にじいろ歯科クリニック
歯科医師 島袋智弘 歯科医師実務経験あり
歯科医師 赤沼正康 歯科医師実務経験あり
歯科衛生士 佐藤 さと子 歯科衛生士実務経験あり
東苗穂病院 歯科
言語聴覚士 坂本真一 言語聴覚士実務経験あり

【授業概要】 超高齢社会を迎え、歯科医療を取り巻く環境は大きく変化している。地域の口腔保健活動に携わるうえで保険・医療・介護・福祉の仕組みやシステムについて理解する必要がある。また多くの高齢者は基礎疾患を有することが多く、身体的・精神的な特徴を把握し歯科医療に従事できる基本的な知識を取得する。

【到達目標】

- ・高齢者の全身的・精神的特徴を説明できる。
- ・高齢者にかかわる法制度および介護保険制度の概要を説明できる。
- ・有病高齢者や要介護高齢者への口腔ケアについて理解する。
- ・摂食嚥下リハビリテーションの概要を理解し説明できる。
- ・在宅医療制度および在宅訪問診療の概要を説明できる。

【教科書】 歯科衛生学シリーズ 高齢者歯科(社)全国歯科衛生士教育協議会監修 医歯薬出版株式会社
歯科衛生学シリーズ 歯科診療補助(社)全国歯科衛生士教育協議会監修 医歯薬出版株式会社

【参考書】 「老年歯科医学」 医歯薬出版株式会社

【評価方法】 定期試験(後期)100%

【授業方法】 講義・実習

【授業計画】

回	授業項目	授業内容	担当者
1	訪問歯科、高齢者歯科とは	・高齢者をとりまく社会と環境	島袋 智弘
2	加齢による身体的、精神的変化と疾患	・加齢に伴う身体的、精神的変化	島袋 智弘
3	高齢者の全身状態の把握	・高齢者に多い全身疾患 ・高齢者の生活機能の評価	赤沼 正康
4	高齢者の全身状態の把握	・高齢者歯科と臨床検査 ・高齢者の栄養状態、薬剤服用	赤沼 正康
5	訪問歯科、高齢者歯科とは	・高齢者の居住形態、施設および入院設備の特徴	赤沼 正康

回	授業項目	授業内容	担当者
6	高齢者に関わる医療と介護	・在宅訪問診療の概要	坂本 真一
7	摂食嚥下リハビリテーション	・摂食嚥下リハビリテーションについて	坂本 真一
8	摂食嚥下リハビリテーション	・摂食嚥下リハビリテーションについて	坂本 真一
9	口腔のケア	・高齢者に対する口腔のケア ・有病高齢者への口腔のケア	佐藤 さと子
10	高齢者に関わる医療と介護	・かかりつけ歯科の役割 ・訪問介護と歯科衛生士	佐藤 さと子
11	訪問歯科まとめ	・講義の補足 ・国家試験問題	佐藤 さと子
12	訪問歯科の実際	・訪問歯科の実際、歯科衛生士の役割	佐藤 さと子
13 ・ 14	訪問歯科の実際 ・ 実習	・訪問歯科の実際、歯科衛生士の役割 ・相互実習	佐藤 さと子

【科目名】 インプラントワーク

【年次・開講期】 2年次 前期

【時 間】 20時間

【単 位】 1単位

【担当講師】 北海道医療大学歯学部 口腔機能修復・再建学系 クラウンブリッジ・インプラント補綴学分野
教授 越智 守生 歯科医師実務経験あり
准教授 廣瀬 由紀人 歯科医師実務経験あり

【授業概要】 口腔インプラント治療は、喪失した歯根の代わりに人工歯根を顎骨内に埋入し、これを土台として上部構造(人工的な歯)を支え、機能的、形態的、審美的に回復をはかることを目的とする。口腔インプラントのための基礎科学、コンサルテーション、治療計画の立案、外科手術ならびに補綴術式、メンテナンス、口腔インプラントの歴史的背景と将来展望について学習する。口腔インプラント治療における歯科医師と歯科衛生士の連携を学び、歯科衛生士の果たすべき役割とその重要性について理解する。

【到達目標】

- ・骨内インプラントシステムを説明できる。
- ・口腔インプラントの構造について説明できる。
- ・口腔インプラント治療の利点と欠点が説明できる。
- ・口腔インプラント治療の適応症と禁忌症を説明できる。
- ・口腔インプラント治療の流れが説明できる。
- ・口腔インプラント治療における検査項目を理解する。
- ・口腔インプラント治療における治療計画の内容について理解する。
- ・口腔インプラント治療におけるインフォームドコンセントを理解する。
- ・一次手術と二次手術の内容が説明できる。
- ・ピックアップ印象法とトランスファー印象法の違いが説明できる。
- ・上部構造の種類とその特徴について説明できる。
- ・口腔インプラント治療でのメンテナンスの内容とその重要性が説明できる。
- ・口腔インプラント治療での偶発事故の内容について理解する。
- ・骨造成手術、軟組織のマネージメント、低侵襲性治療について理解する。

【教科書】 「歯科補綴学」(新・歯科衛生士教育マニュアル) クインテッセンス出版株式会社

【参考書】 歯科衛生学シリーズ 咀嚼障害・咬合異常1 歯科補綴
(一社)全国歯科衛生士教育協議会 監修 医歯薬出版株式会社

【評価方法】 定期試験(後期)100%

【授業方法】 講義・小テスト

【授業計画】

回	授業項目	授業内容	担当者
1	・口腔インプラント学序説 ・インプラント治療の実際(1) ・インプラントの基礎知識(1)	① 欠損補綴におけるインプラント治療の位置づけを理解する。 ② インプラント治療の流れの概要を把握する。 ③ インプラントシステムの変遷を理解する。 ④ インプラントの基本構造を理解する。 ⑤ インプラントと天然歯の共通点と相違点を理解する。	越智守生
2	・インプラントの基礎知識(2)	① 口腔インプラント治療のための基礎科学の要点を理解する。 (特にインプラント材料ならびにインプラント体の表面性状) ② インプラント周囲疾患の原因、病態、対処方法を理解する。	廣瀬由紀人

回	授業項目	授業内容	担当者
3	・インプラント治療の実際(2) ・検査、診断(1) ・	①「インプラント治療の流れ」についての復習 ② インプラント治療の利点と欠点が説明できる。 ③ インプラント治療における全身的・局所的検査と画像検査を理解する。	越智守生
4	・インプラントの基礎知識(3) ・検査、診断(2) ・治療計画の立案 ・インフォームドコンセント	①「口腔インプラントのための基礎科学」についての復習 ②「インプラント治療における検査、診断」についての補足解説 ③ 治療計画の立案について、その要点を理解する。 ④「インプラントにおけるコンサルテーション」を学ぶ。 ⑤ インフォームドコンセントの概念を理解する。	廣瀬由紀人
5	・インプラント手術(1)	① 術前の患者指導とPMTCができる。 ② 手術準備、手指消毒、術衣の装着、ドレーピングができる。 ③ 一次ならびに二次手術の内容を理解し、手術の補助ができる。	越智守生
6	・インプラント手術(2)	①「手術準備、手指消毒、術衣の装着、ドレーピング」についての復習 ② 手術後の後片付けと患者対応ができる。 ③ 免荷期間、即時負荷について理解する。 ④ 一次手術と二次手術の違いが説明できる(復習)。	廣瀬由紀人
7	・インプラントの印象採得 ・上部構造	① 上部構造の種類を説明できる。 ② インプラントの補綴術式を理解する(特に印象採得)。 ③ 固定性上部構造と可撤性上部構造の特徴を理解する。 ④ スクリュー固定式とセメント固定式の特徴を理解する。	越智守生
8	・メンテナンス(1)	① リコールについて説明できる。 ② メンテナンス時の要観察・確認事項を理解する。 ③ インプラント治療での偶発事故の内容について理解する。	廣瀬由紀人
9	・メンテナンス(2)	① プラークコントロールと患者指導ができる。 ② 累積防衛的メンテナンス療法を理解する。 ③ 骨造成手術、軟組織のマネージメント、低侵襲性治療について理解する。 ④「インプラント補綴治療(第7回)」についての復習	越智守生
10	・総括	① インプラント臨床における歯科衛生士の役割についての総括 ② 口腔インプラントの歴史的背景と将来展望について学ぶ。 ③ 試験対策	廣瀬由紀人

【科目名】 歯科衛生士業務Ⅰ

【年次・開講期】 2年次 前期・後期

【時 間】 20時間

【単 位】 1単位

【担当講師】 岩寺小児歯科
副院長 岩寺 信喜 歯科医師実務経験あり
札幌歯科学院専門学校 歯科衛生士科
専任教員 土門 京子 歯科衛生士実務経験あり
専任教員 市川 智恵 歯科衛生士実務経験あり

【授業概要】 臨床実習にむけ、より臨床に即した実践内容について学ぶ。
主要三科目の枠を超えた歯科衛生士業務について学習および演習を行う。

【到達目標】 ・口腔内写真撮影(咬合面・側方面)ができる。
・う蝕、歯周病検査のスクリーニングができる。
・食育について説明できる。
・小児の食行動について説明できる。
・口腔機能訓練の方法について説明できる。

【教科書】 歯科衛生学シリーズ 歯科予防処置論・歯科保健指導論
歯科衛生学シリーズ 歯科診療補助論
(一社)全国歯科衛生士教育協議会 監修 医歯薬出版株式会社
新人歯科衛生士・デンタルスタッフ「ポケットマニュアル」 医歯薬出版株式会社

【参考書】 配布プリント
「だれでもバッチリ撮れる！口腔内写真」 クインテッセンス出版

【評価方法】 定期試験(後期)100%

【授業方法】 講義・演習・実習

【授業計画】

回	授 業 項 目	授 業 内 容	担当者
1	臨床実習時の心得1	・社会人としての基本的マナー ・院内での会話・言葉遣いの注意点 ・ユニット周辺のテリトリー	土門 京子
2	口腔内写真撮影実習1	・正面観撮影 ・側方観撮影	市川 智恵
3	口腔内写真撮影実習2	・咬合面観撮影 ・口腔内写真撮影のまとめ	市川 智恵
4	保育園実習媒体活用法1	・保育園における歯科検診について	土門 京子
5	保育園実習媒体活用法2	・保育園児に対する集団指導法1	土門 京子
6	保育園実習媒体活用法3	・保育園児に対する集団指導法2	土門 京子
7・8	食育について	・食育とは ・窒息事故について ・子供の発育 ・五感を意識した食べ方	岩寺 信喜
9・10	小児の摂食・嚥下 口腔機能訓練	・授乳、離乳について ・噛むことの効用 ・MFT(筋機能訓練)とは ・口腔周囲筋の機能低下による影響 ・離乳食についてのMFTの方法	岩寺 信喜

【科目名】 歯科衛生士業務Ⅱ

【年次・開講期】 3年次 前・後期

【時間】 36時間

【単位】 1単位

【担当講師】 札幌歯科医師会 会員 鈴木淳一 歯科医師実務経験あり
独立行政法人国立病院機構北海道がんセンター 江戸美奈子 歯科衛生士実務経験あり
札幌歯科学院専門学校 専任教員 飯塚 貴子 歯科衛生士実務経験あり
札幌歯科学院専門学校 専任教員 岩越 帆乃香 歯科衛生士実務経験あり

【授業概要】 歯科衛生士の専門性を生かしう蝕や歯周病の予防をととして口腔機能管理を行う上で必要な知識、技術を統合し、EBMに基づき予防のスペシャリストとしての歯科衛生士の役割を学ぶ。医科と歯科とが連携し、それぞれの専門職が協同するチーム医療が求められており、周術期における口腔機能管理の概要を学び歯科衛生士としてのかかわりを学ぶ。審美歯科のホワイトニングの概要、術式、メンテナンスについて学ぶ。

【到達目標】

- ・齲蝕発生のメカニズムを説明できる。
- ・齲蝕予防の概要を説明できる。
- ・齲蝕予防の方法を理解する。
- ・歯周病発生のメカニズムを説明できる。
- ・歯周病予防の概要を説明できる。
- ・歯周病予防の方法を理解する。
- ・がんとがん治療に関する一般的な知識を習得する。
- ・がん患者の身体的、精神的病態を理解する。
- ・周術期における口腔機能管理の概要を理解する。
- ・全身麻酔手術におけるリスクや合併症を理解する。
- ・がん薬物療法、頭頸部放射線療法における副作用と口腔ケアの重要性を理解する。
- ・周術期の歯科治療への対応を理解する。
- ・周術期における歯科衛生士の役割を理解する。
- ・ホワイトニングの基礎知識を理解する。
- ・ホワイトニングの術式を理解する。
- ・ホワイトニング実施後のケアについて理解する。

【教科書】 歯科衛生学シリーズ 歯科予防処置論・歯科保健指導論
歯科衛生学シリーズ 歯科診療補助論
歯科衛生学シリーズ 歯の硬組織・歯髄疾患 保存修復・歯内療法
(一社)全国歯科衛生士教育協議会監修 医歯薬出版株式会社
新人歯科衛生士・デンタルスタッフ「ポケットマニュアル」 医歯薬出版株式会社

【参考書】

【評価方法】 後期試験にて評価をする。各担当者が担当分野より出題し総合評価をする。

【授業方法】 講義・演習

【授業計画】

回	授業項目	授業内容	担当者
1	う蝕と歯周病を予防する	総論 ・齶蝕予防、歯周病予防とは ・齶蝕予防、歯周病予防における歯科衛生士科の役割	鈴木 淳一
2	う蝕と歯周病を予防する	各論 ・歯、および唾液とフッ化物応用の知識 ・齶蝕活動性試験 ・齶蝕抑制効果の評価およびスクリーニング手法 ・歯周病に関連する検査 ・プラークコントロール	鈴木 淳一
3	う蝕と歯周病を予防する	臨床編 ・フッ化物局所応用法 ・小窩裂溝填塞法 ・プロフェッショナルケアとホームケア	鈴木 淳一
4	周術期における歯科診療の補助と口腔機能管理	がんの基礎知識・治療法 がん患者の全身状態と評価	江戸 美奈子
5	周術期における歯科診療の補助と口腔機能管理	周術期における口腔機能管理① がん手術と口腔ケア	江戸 美奈子
6	周術期における歯科診療の補助と口腔機能管理	周術期における口腔機能管理② がん薬物療法、頭頸部放射線療法と口腔ケア	江戸 美奈子
7	周術期における歯科診療の補助と口腔機能管理	周術期の歯科治療への対応 専門的口腔衛生処置の実際	江戸 美奈子
8	ホワイトニングの概要	ホワイトニングの基礎知識	岩越 帆乃香
9	ホワイトニングの実際①	印象採得	岩越 帆乃香
10		石膏注入	
11	ホワイトニングの実際②	トリミング	飯塚 貴子
12		マウストレー製作	
12	ホワイトニングの実際③	ホワイトニングの実施(ホームホワイトニング)	飯塚 貴子
13			
14	ホワイトニングの実際④	ホワイトニングの実施(オフィスホワイトニング)	飯塚 貴子
15		まとめ	
16	審美歯科について		講師選択中
17			
18	最近のトピックス		講師選択中

【科目名】 総合学習

【年次・開講期】 3年次 後期

【時間】 60時間

【単位】 2単位

【担当講師】 北海道医療大学歯学部口腔構造・機能発育学系 咬合再建補綴学
越野 寿 歯科医師実務経験あり

札幌歯科学院専門学校 歯科衛生科 役職員

札幌歯科学院専門学校 歯科衛生科 専任教員

【授業概要】 基礎医学、臨床医学のポイントをまとめ、歯科衛生士に必要な知識を習得する。

【到達目標】 ・災害時の歯科衛生士の役割を理解する。
・模擬試験に合格する。

【教科書】 歯科衛生学シリーズ 人体の構造と機能1 解剖学・組織発生学・生理学
歯科衛生学シリーズ 歯・口腔の構造と機能 口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学
歯科衛生学シリーズ 人体の構造と機能2 栄養と代謝
歯科衛生学シリーズ 疾病の成り立ち及び回復過程の促進1 病理学・口腔病理学
歯科衛生学シリーズ 疾病の成り立ち及び回復過程の促進2 微生物学
歯科衛生学シリーズ 疾病の成り立ち及び回復過程の促進3 薬理学
歯科衛生学シリーズ 保健生態学
歯科衛生学シリーズ 障害者歯科
歯科衛生学シリーズ 高齢者歯科
歯科衛生学シリーズ 歯の硬組織・歯髄疾患 保存修復・歯内療法
歯科衛生学シリーズ 咀嚼障害・咬合異常1 歯科補綴
歯科衛生学シリーズ 咀嚼障害・咬合異常2 歯科矯正
歯科衛生学シリーズ 口腔外科・歯科麻酔
歯科衛生学シリーズ 小児歯科
(一社)全国歯科衛生士教育協議会 監修 医歯薬出版株式会社

【評価方法】 定期試験(後期)100%

【授業方法】 講義・模擬試験

【授業計画】

回	授業項目	授業内容	担当者
1	模擬試験	校内模擬試験 1	専任教員
2	模擬試験	校内模擬試験 2	専任教員
3	模擬試験	全国模擬試験 1	専任教員
4	模擬試験	全国模擬試験 2	専任教員
5	高齢者歯科・障がい者歯科	模擬試験の解説	専任教員
6	模擬試験	校内模擬試験 3	専任教員
7	模擬試験	校内模擬試験 4	専任教員
8	模擬試験	全国模擬試験 3	専任教員
9	災害時の歯科保健	災害時の歯科衛生士の役割	越野 寿
10	口腔衛生	国家試験対策	役職員

回	授業項目	授業内容	担当者
11	病理学・口腔外科学	国家試験対策	役職員
12	微生物・薬理	国家試験対策	役職員
13	公衆衛生	国家試験対策	役職員
14	衛生行政・社会福祉	国家試験対策	役職員